取扱説明書

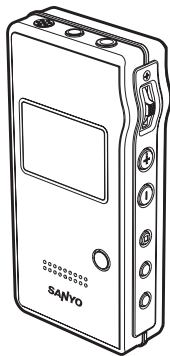
HDDボイスレコーダー

品番　HDR-B5GM

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

SD™はSDアソシエーションの登録商標です。

この商品には、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池のリサイクルにご協力ください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	HDR-B5GM
シリアルNo.	
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　　）　－

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書は古紙配合100%の再生紙を使用しています。

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
ただし、廃棄時には内蔵の充電池を取り出してリサイクルにご協力ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電源（ACアダプター/充電池）について

警告

■ ACアダプターが傷んだままで使用しない

注意

ACアダプターを抜く

お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 電源は交流（AC）100V以外使用しない、また付属のACアダプター以外は使わない

禁止

表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。また、本体には付属のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となります。

■ 中途半端なACアダプターのさし込み状態では使用しない

禁止

- ACアダプターのさし込みかたが不完全な状態で使用すると発熱し、火災の原因となります。
- たこ足配線の場合も、コードやACアダプターが発熱し、火災の原因となります。

■ ACアダプターを加工したり、無理に折り曲げたりしない

禁止

ACアダプターを無理な使いかたをするとコードが破損して、火災・感電の原因となりますので、次のようなことはしないでください。

- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げたりして傷をつける。
- 重いものを乗せる。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

■ 雷が鳴り出したらACアダプターなどに触れない

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

■ ACアダプターを布でおおったりしない

禁止

ACアダプターは布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。また、ほこりやゴミなどを付着したまま使用しないでください。熱がこもりケースが変形したり、湿気を帯びて火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

⚠ 注意

■ ACアダプターを抜くときの注意

禁止

- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

■ ACアダプターを使用しないときの注意

ACアダプターを抜く

ACアダプターをご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

■ この製品はリチウムイオン充電池を内蔵しています

禁止

注意

発熱、発火、破裂などを避けるために、必ず下記の注意事項をお守りください。

- 付属のACアダプター以外で充電しないでください。液漏れや破損の原因になります。充電するときは必ず付属のACアダプターまたは、パソコンに接続して充電してください。
- 火のそばや中に入れないでください。また、炎天下に放置しないでください。充電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。
- 不要になった充電池を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。リサイクルのためお買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちください。
- 充電池は消耗品です。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は短くなります。使用できる時間が最初に比べて約半分になったときは、充電池の交換時期です。電池寿命は5年を目安にしてください。
  交換についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 充電中に本機があたたかくなることがありますが、異常ではありません。ただし、長時間触れていると低温やけどを負うことがありますので充電中の本体には触れないようにしてください。もし、触れられないほど熱くなった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、お近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、充電してください。

充電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

リサイクルのお願い

この商品には、リチウムイオン充電池を使用しております。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み商品の廃棄に際しては、リチウムイオン充電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。
廃棄するための内蔵充電池の取り外し手順は、96、97ページをご覧ください。

本体（内蔵ハードディスク）について

本体にはハードディスクを内蔵しています。内蔵ハードディスクは衝撃・振動や温度変化に敏感な機器です。使用状況によっては破損によりデータの読み書きができなくなることがあります。本体を一時的なデータの保管場所として使用されることをお勧めします。恒久的な保管場所としては使用しないでください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房機器の近く
- 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）
- 不安定な台の上や場所、振動の多いところ
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

温度上昇について

本機を充電中（ACアダプター接続）またはパソコン接続で、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1.録音前には必ず試し録音をしてください。

2.録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用中および**落下や衝撃**が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- SD™はSDアソシエーションの登録商標です。
- DigiOnは株式会社デジオンの登録商標です。Powered By DigiOn Portion Copyright ©2001 DigiOn, Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。

□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。

□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

※CD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

付属品の確認

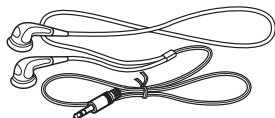
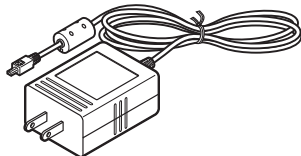
箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- HDDボイスレコーダー本体 1

- ACアダプター 1

- ワイヤードリモコン 1

- ステレオピンマイク 1

- インナーイヤー型
  ステレオヘッドホン 1

- 専用USB接続ケーブル 1

- キャリングポーチ 1
- 本書（保証書付）........................ 1
- 基本操作ガイド 1
- CD-ROM
  （MusicFileMaster）............... 1

主な特長

5GBハードディスク内蔵で高音質長時間録音可能！

- MP3音声データで、約693時間（録音モード：LP時）の録音が可能です。
  4GB制約での最大連続録音時間は約596時間の録音が可能です。
- 付属のステレオピンマイクで、より臨場感のある録音ができます。また、録音モードがLP時以外はステレオ録音もできます。

パソコンと接続可能！

- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。（Window Me/2000/XP対応）
- ポータブル型ハードディスクドライブとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。（本機付属のMusicFileMasterで再生することができます。）
- パソコンからWMA（Windows Media Audio）ファイルを転送して本機で再生できます。

3 SDカード使用可能！

- 外部メモリとして市販のSDカードが使用可能です。まず、本機でフォーマットしてからご使用ください。（新規購入されたものを、そのままご使用されてもSDカードを認識されない場合があります。さらに、本機以外でフォーマットしますと正しく動作しない場合もあります。）また、本機をパソコンに接続したとき、パソコンより直接SDカードの内容を参照することはできませんが、SDカードの内容を本機内蔵HDDにバックアップを取ることで、その内容をパソコンから参照することができます）。

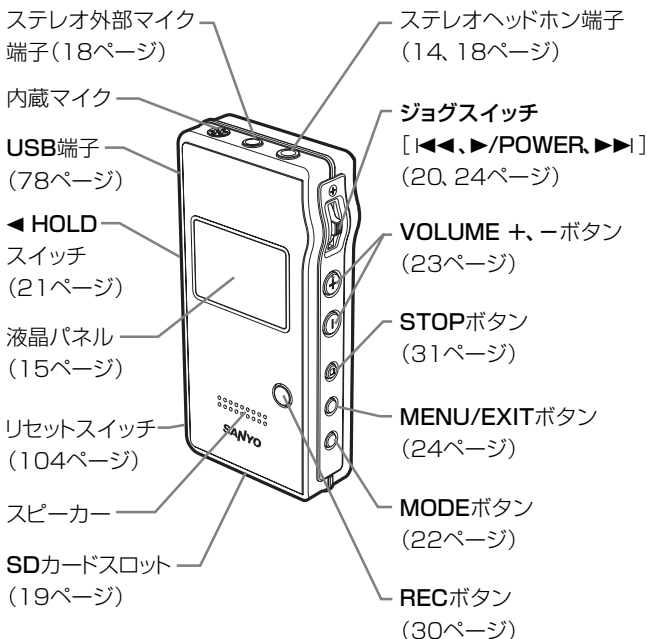
MusicFileMasterで音楽ファイル管理が可能！

- パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを取り込んで本機へ転送し、転送した音楽ファイルを管理することができます。

各部のなまえ

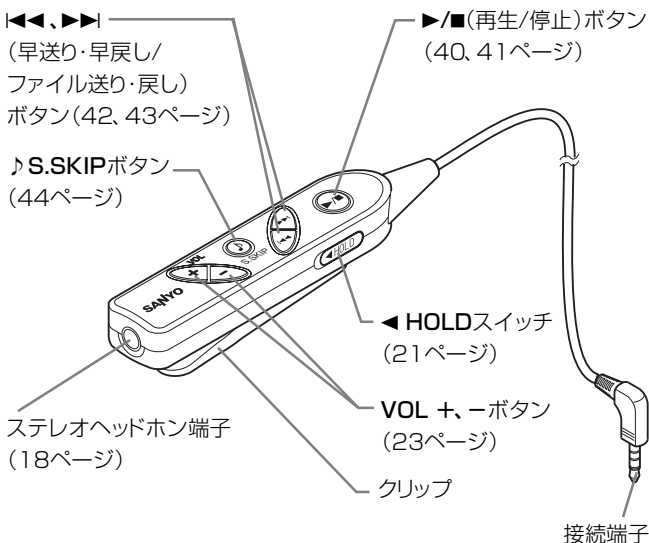
本書では基本的に本体での操作を中心に説明しています。

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

本書では基本的に本体での操作を中心に説明しています。

ワイヤードリモコンの同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。

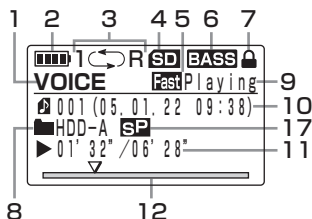
くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

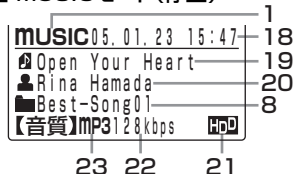
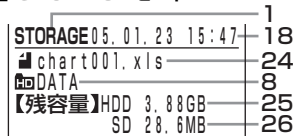
ワイヤードリモコン

ワイヤードリモコンを使用するには

接続端子を本機のステレオヘッドホン端子に差し込んでください。
ワイヤードリモコンを差し込むと、スピーカーから音が出なくなりますので、ワイヤードリモコンのステレオヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。

液晶パネル

[すべての画面を一度に表示することはできません]

■ VOICEモード(再生)

■ VOICEモード(録音)

■ MUSICモード(停止)

■ STORAGEモード

1. モード表示
2. 電池残量
3. リピート/ランダム
   (アクセス表示･･･点滅)
4. SDカード
5. 再生スピード(Fast/Slow)
6. BASS
7. ホールド設定
8. フォルダ名
9. 再生表示
10. ファイル番号(録音日時)
11. 再生経過時間/再生総時間
12. 再生経過表示
13. 録音表示
14. 録音経過時間
15. 録音残時間
16. VAS(音声起動録音)
17. 録音モード
    (XHQ, HQ, SP, LP)
18. 現在日時
19. 曲名
20. アーティスト名
21. 内蔵HDD/SDカード表示
22. ビットレート
23. ファイル種別
24. ファイル名
25. 内蔵HDD残容量
26. SDカード残容量

コントラストの調整

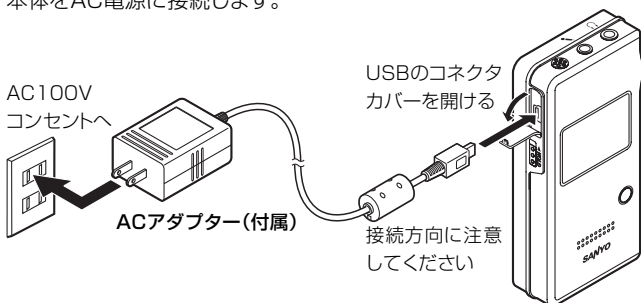
液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。
67ページ「システム設定メニュー項目-LCDコントラスト」参照。

お使いになるまえに

充電池を充電する

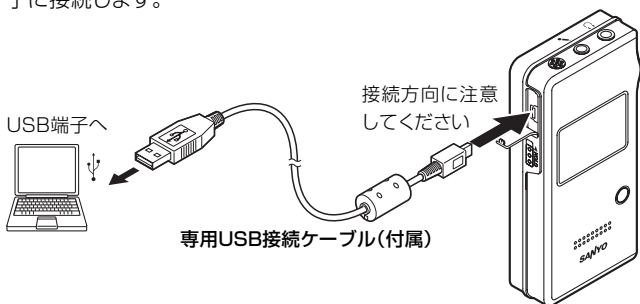
本機を初めてご使用になる場合は、本体内蔵の充電池を必ず充電してください。また、充電池が消耗した場合も同様に充電してください。充電時間は約3時間です。充電するにはACアダプターを使用する方法と、パソコンにつないでUSB充電する方法の二つがあります。

ACアダプターを使用して充電する場合

本機を使用しながら充電することができます。
ACアダプターのコネクタ部分を本機のUSB端子部に、ACアダプター本体をAC電源に接続します。

ちょっとこれを!

ACアダプターをつないだままで本機を使用すると、電池を消耗せずに操作することができます。

パソコンを使用してUSB充電をする場合

付属の専用USB接続ケーブルの小さい方のUSBコネクタ部分を本機のUSB端子部に、もう一方のUSBコネクタ部分をパソコンのUSB端子に接続します。

ちょっとこれを!

- パソコンに接続中は本機を操作することができません。
- 以下の状態のときはUSB充電しません。
  1. パソコンが休止状態のモードになったとき
  2. パソコンを再起動したとき
  3. 充電池が完全放電(電池残量ゼロ)しているとき

充電表示について

充電中は液晶パネルに"CHARGING"が表示され、電池マークが以下のように順番に切り換わります。充電が終了すると、液晶パネルに"FULL"が表示されます。

ちょっとこれを!

- 本機の電源が入っている状態で充電すると、液晶パネル左上の電池残量表示が順に切り換わって表示されます。

ご注意

- 充電中に充電池があたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間は充電池の使用状態により異なります。
- データ転送中でもUSB充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の再生時間が短くなることがあります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電時間が長くなったり、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か再生/充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 電池の容量が少ないのに充電が終了してしまう場合、充電池の寿命が考えられます。
- 充電池の不良と考えられる場合は、販売店にご相談ください。
- 充電は周囲の温度が5～35℃の環境でおこなってください。

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。

電池残量表示が“□”を点灯したら

充電池を充電してください。

“電池切れです！”表示後　液晶パネル表示消灯 ——→ 電池切れ

ステレオヘッドホン、ワイヤードリモコン（付属）を使用する

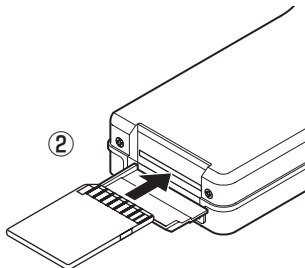
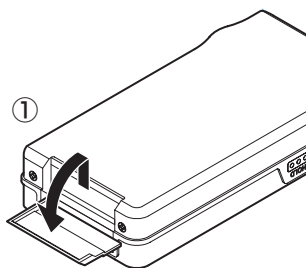
ステレオヘッドホン端子に差し込んでください。ステレオヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。
ワイヤードリモコンを使用するときは、付属のステレオヘッドホンを接続して使用してください。

ステレオピンマイク（付属）を使用する

ステレオ外部マイク端子に差し込んでください。ステレオピンマイクを差し込むと、内蔵マイクは動作しません。

※ 付属品以外の外部マイクを使用しないでください。正常に録音ができないことがあります。

SDカード(市販品)を使用する

● SDカードの入れ方

ラベル面を下にしてカードがロックするまで挿入します。

SDカードを入れると、液晶パネルに"**SD**"が表示されます。

● SDカードの取り出し方

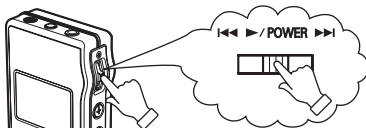
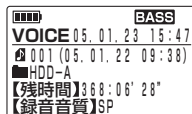
1. **ジョグスイッチ**を2秒以上押して電源を切ります。
2. SDカード挿入口のふたを開けます。
3. SDカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

ご注意

- 操作中は、絶対にSDカードを取り出さないでください。
- SDカードの端子には触れないでください。故障の原因となります。
- 静電気のある場所などにSDカードを置かないでください。
- SDカードを使用すると、自動的にフォルダなどが作成されます。そのフォルダは消さないでください。
- SDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。もし飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。
- 128MB以上のSDカードを初めてお使いになる場合、読み込みに約30秒ほど時間がかかることがありますが故障ではありません。
  また、フォーマットした場合でも同様に時間がかかることがあります。
- SDカードは16MB以上1GB以下の容量をサポートしています。
  (2005年3月現在)

操作前準備

電源を入/切にする

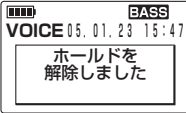
ジョグスイッチ(POWER)を2秒以上押します。

液晶パネルのバックライトが点灯し、"HELLO"と表示されて電源が入り、電源を切る前に選択していた動作モードが表示されます。(レジューム機能)

- バックライトの表示時間を選択できます。初期設定では「5秒」に設定されています。
  67ページ「システム設定メニュー項目 - LCDバックライト」参照。

再度**ジョグスイッチ(POWER)**を2秒以上押すと、"SEE YOU"と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

- 電源が入った状態で、一定時間放置しておくと、自動的に電源が切れるように設定できます。また、録音一時停止中に、一定時間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。初期設定は5分に設定されています。
  66ページ「システム設定メニュー項目-オートパワーオフ」参照。

レジューム機能

電源を切る前に選択していた動作モードとファイルや、再生を停止させた位置を記憶しています。
ただし、音量については、音量レベルが25以上に設定されていたときは、電源を入れると自動的に24に設定されます。
次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。

● パソコンに接続するとレジューム機能は解除されます。

誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。本機では、本体とワイヤードリモコンでそれぞれ別々に設定することができます。

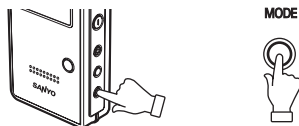
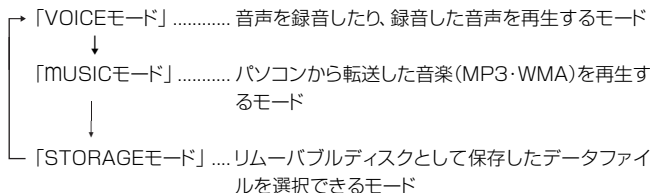
操作とはたらき		液晶パネル表示
	本体またはワイヤードリモコンのHOLDスイッチを矢印の方向に切り換える ● 本体で設定した場合は、"ホールド設定です"と"🔒"が表示され、ホールド機能がはたらき、本体の操作ボタンを押すと、"ホールド設定です"と表示され、各ボタンは機能しません。 ● ワイヤードリモコンで設定した場合は、ホールド機能がはたらき、ワイヤードリモコンの各ボタンは機能しません。 ● ワイヤードリモコンで設定・解除した場合は、液晶パネルにはなにも表示されません。	 本体表示

	操作とはたらき	液晶パネル表示
2	**本体またはワイヤードリモコンのHOLDスイッチを矢印の反対方向に切り換える** ● 本体を解除した場合は、"ホールドを解除しました"と表示され、ホールド機能が解除されます。 ● ワイヤードリモコンを解除した場合は、ワイヤードリモコンのホールド機能が解除されます。	BASS VOICE 05. 01. 23 15:47 ホールドを 解除しました

動作モード(ファンクション)を切り換える

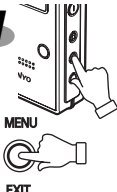
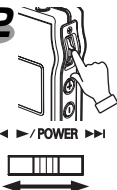
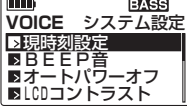
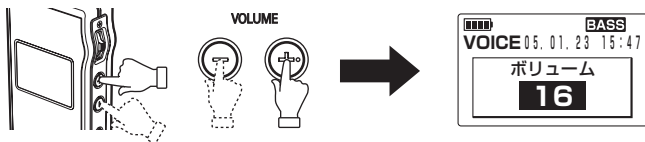
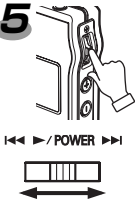
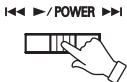
停止中に、MODEボタンを押します。

ボタンを押すたびに以下の順に切り換わります。

→「VOICEモード」............ 音声を録音したり、録音した音声を再生するモード
↓
「MUSICモード」........... パソコンから転送した音楽(MP3・WMA)を再生するモード
↓
「STORAGEモード」.... リムーバブルディスクとして保存したデータファイルを選択できるモード

※ 詳しくは59、60ページ参照

ビープ(BEEP)音の有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音の有無を選択できます。
初期設定ではビープ音が「ON」になっています。
ビープ音が出るのは各種メニュー操作時のみです。メニュー操作以外でボタンを押してもビープ音は鳴りません。
66ページ「システム設定メニュー項目 - BEEP音」参照。

音量を調節する

● 録音モニター･再生･停止中に**VOLUME +/ー**ボタンを押すと、下の画面が表示され音量を調節することができます。

● 音量レベル0〜30の範囲で調節できます。

日時を設定する

録音を開始する前に、日時の設定･確認をおこなってください。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	BASS VOICE menu フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作 例:VOICEモード選択時
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「システム設定」を選択する**	
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● システム設定メニュー画面が表示されます。	BASS VOICE システム設定 現時刻設定 BEEP音 オートパワーオフ LCDコントラスト
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**「現時刻設定」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● 現時刻設定画面が表示されます(西暦表示を選択しています)。	BASS VOICE 現時刻設定 【年】2 0 0 5 【月】0 1 【日】0 1 【時】0 1

	操作とはたらき	液晶パネル表示
5	**ジョグスイッチをスライドさせて西暦を設定する** ● **ジョグスイッチ**を ►►I 方向にスライドさせると日時が進み、I◄◄ 方向にスライドさせると日時が戻ります。	
6	**ジョグスイッチを押す** ● 西暦が決定し、次の月表示が選択されます。 ● 同様の操作で、月、日、時、分を設定します。最後に「分」を設定した後、**ジョグスイッチ**を押してください。 日時が設定され、システム設定メニュー画面に戻ります。	BASS VOICE 現時刻設定 【年】2 0 0 5 【月】0 1 【日】0 1 【時】0 1
7 MENU EXIT	**MENU/EXITボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。 ● 日時設定を途中で中止するには、設定中にSTOPボタンを押します。	

ちょっとこれを！

長時間使用していると時刻表示がずれることがありますので、その時は正しい時刻に設定をしなおしてください。
本機の時刻表示は24H表示です。

録音する

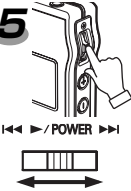
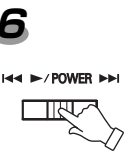
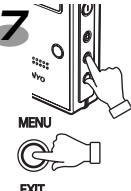
風の強い場所など、環境によって録音状態が変わります。
必ず事前に試し録音して、正常に録音されることを確認してください。

ご注意

録音中に本機を持ち替えたり、ボタンなどをこすると、不要な音を録音してしまう場合がありますので、ご注意ください(付属のステレオピンマイクを使用すると、不要な音が録音されにくくなります)。

録音可能時間について

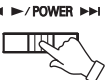
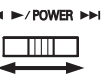
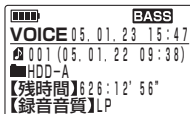
録音可能時間は録音音質(音質レベル)によって変化します。録音音質は下記表のごとく4種類あり、初期設定ではスタンダードモードになっています。
録音音質と録音可能時間の関係を以下に示します。

録音音質	ステレオ/モノラル		録音可能時間	
	内蔵マイク	外部マイク	5GB	4GB制約
XHQ(エクストラハイクオリティモード)	モノラル	ステレオ	約57時間	約49時間
HQ(ハイクオリティモード)	モノラル	ステレオ	約86時間	約76時間
SP(スタンダードモード)	モノラル	ステレオ	約173時間	約149時間
LP(ロングモード)	モノラル	モノラル	約693時間	約596時間

ちょっとこれを!

- ファイルサイズの制限のため、1度に連続して録音可能な最長時間は、表の時間の約86%です。
- 音質を優先される場合はXHQ、会議など通常の場合はHQまたはSP、録音時間優先の場合はLPをお選びください。
- 内蔵マイクからの録音は、録音音質に関係なくモノラル録音になります。
- 内蔵マイクからの録音は、録音フォルダを内蔵HDDに選択しますと、数分に一度程度の割合でHDDの起動音が録音されることがあります。
  この状況を避けるには、付属のステレオピンマイクを使用して、本機からマイクを離すことで軽減されます。
- 録音残時間表示についての説明は103ページ「録音残時間表示について」をご覧ください。

準備：VOICEモードを選択しておきます（22ページ）。

1 録音モードを選択する

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面（右図）が表示されます。	BASS VOICE　MENU フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「録音設定」を選択する**	
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 録音設定メニュー画面が表示されます。	BASS VOICE　録音設定 録音音質 マイク感度 ＶＡＳ設定
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**「録音音質」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● 録音音質選択画面が表示されます（現在設定されている録音音質がチェックされています）。	BASS VOICE　録音音質 ＬＰ ☑ＳＰ ＨＱ ＸＨＱ

	操作とはたらき	液晶パネル表示
5 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	ジョグスイッチをスライドさせて任意の録音音質(XHQ, HQ, SP, LP)を選択する	
6 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	ジョグスイッチを押す ● 録音モードが確定し、録音設定メニュー画面に戻ります。	BASS VOICE 録音設定 録音音質 マイク感度 VAS設定
7 MENU EXIT	MENU/EXITボタンを2度押す ● もとの停止状態に戻ります。	BASS VOICE 05.01.23 15:47 001(05.01.22 09:38) HDD-A 【残時間】626:12' 56" 【録音音質】LP

ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき250ファイルとなります。録音残時間が残っていても、251以上のファイルを録音することはできません。
251ファイル目を録音しようとすると、“ファイルが一杯です”と表示されます。空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。

録音するメモリ(内蔵HDD/SDカード)・フォルダを選択する

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	VOICE MENU フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**「フォルダ選択」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● フォルダ選択画面が表示されます(現在選択されているフォルダを選択しています)。	VOICE フォルダ選択 HDD－A HDD－B HDD－C HDD－D
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて録音するフォルダ(HDDまたはSDのA・B・C・D)を選択する**	
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● HDDまたはSDの選択したフォルダに切り換わります。	VOICE 05.01.23 15:47 001(05.01.21 19:23) SD-A 【残時間】7:30'16" 【録音音質】SP

ちょっとこれを!

- SDカードが入っていない場合は、SD-A・B・C・Dフォルダは表示されません。
- フォルダ選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、フォルダの詳細情報(ファイル数)を表示します。
  MENU/EXITボタンを押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

3 録音を開始する

RECボタンを押します。

RECボタンが点灯して液晶パネルに"Recording"を表示し、録音を開始します(以降、録音音質はスタンダードモードで説明します..... 26ページ「録音可能時間について」参照)。
現在録音しているファイル番号とフォルダ名、録音経過時間、録音残時間を表示します。

- 自動的に録音日時(録音開始時刻)も記録します。

ご注意

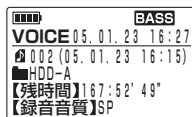
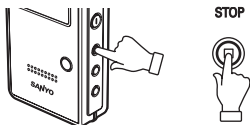
- 選択中のメモリ(HDD/SDカード)の容量が一杯の時は、"容量が一杯です"と表示されて録音できません。
- 録音中に選択したメモリの容量が一杯になった時は、録音が停止します。
- 録音中にステレオヘッドホンやステレオピンマイクを抜き差ししないでください。録音が停止します。

ちょっとこれを!

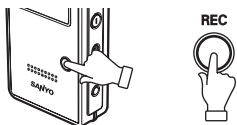
- MUSICまたはSTORAGEモード選択中に**REC**ボタンを押した時は、自動的にVOICEモードに切り換わり、直前に選択していたVOICEフォルダに録音されます。

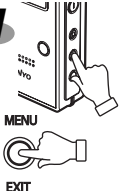
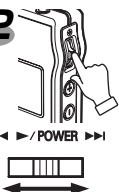
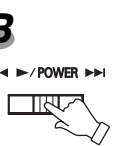
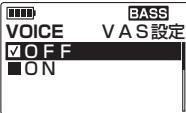
録音を停止するには

STOPボタンを押します。

VOICE 05.01.23 16:27
002 (05.01.23 16:15)
HDD-A
【残時間】167:52′49″
【録音音質】SP

録音したファイルの先頭に戻ります。

録音を一時停止するには

録音中にRECボタンを押します。

液晶パネルに“Rec Pause”を表示し、録音経過時間が点滅します。
再度**REC**ボタンを押すと、録音を再開します。
オートパワーオフを設定していると、設定している時間で電源が切れます。

録音内容をモニターするには

本体のステレオヘッドホン端子にリモコン接続したステレオヘッドホンを差し込みます。その状態で、30ページからの手順にしたがって録音を開始すると、録音している内容をステレオヘッドホンから聞くことができます。**VOLUME ＋/－**ボタンを押すと、モニター中にステレオヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。
スピーカーからモニター音は出力されません。

録音（マイク）感度の設定

本機では録音感度（高/低）の設定ができます。
初期設定では“高感度”に設定されていますが、録音をされる前にテスト録音し、適切な感度の切り換えをおこなってください。
（62ページ「録音設定メニュー項目 - マイク感度」参照）

VAS:音声起動録音設定について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止するという機能です。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	BASS VOICE menu フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「録音設定」を選択する**	
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 録音設定メニュー画面が表示されます。	BASS VOICE 録音設定 録音音質 マイク感度 VAS設定
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「VAS設定」を選択する**	BASS VOICE 録音設定 録音音質 マイク感度 VAS設定

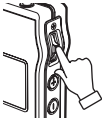
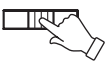
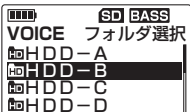
	操作とはたらき	液晶パネル表示
5 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** ● VAS設定画面が表示されます（現在の設定をチェックしています）。	BASS VOICE VAS設定 ☑OFF ■ON
6 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチをスライドさせて「ON」を選択する**	
7 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** ● VAS設定が「ON」になり、録音設定メニュー画面に戻ります。	BASS VOICE 録音設定 録音音質 マイク感度 VAS設定
8 MENU EXIT	**MENU/EXITボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります（VASの文字が表示）。	BASS VOICE 05.01.23 15:47 001 (05.01.22 09:38) HDD-A 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP VAS
9 REC	**録音ボタンを押す** ● 音声を感知しないと録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音が開始されます。 （録音待機状態：Rec Pause表示と録音時間が点滅）	BASS VOICE Rec Pause 0:00'02" 【残時間】168:06'26" 002 HDD-A SP VAS

マイクセンサーの感知レベル

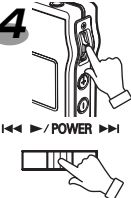
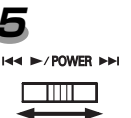
ＶＡＳ機能を「ＯＮ」に設定している場合は、録音中に**ジョグスイッチ**をスライドさせて、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。
VASの感知レベルは「VAS値 1～VAS値 5」の範囲で、数値を画面表示します（初期値＝3）。
数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。
録音感度をご使用の目的に合わせて「高」または「低」に切り換えて、VASレベルを調整してください。

- 小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。大切な録音をする場合は、VAS機能を「OFF」にしてください。

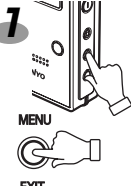
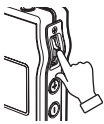
インデックス（再生頭出し機能）をつける

録音中に**ジョグスイッチ**を押すと、「**インデックス XXを設定しました**」を表示してその箇所にインデックスマークがつき、そのまま録音を続けることができます。再生時に頭出しするときに便利です。
ひとつのファイルに対して、32箇所までのインデックスマークをつけることができますが、個々のインデックスマークを消去することはできません。
パソコンからはインデックスマークを消去することはできますが、再付加はできません。
※ 33箇所目のインデックスマークをつけようとすると「**インデックス数が一杯です**」と表示されます。

再生する

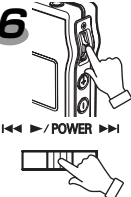
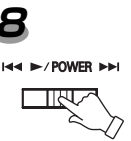
再生するファイルを選択する

VOICEモードでファイル(音声)を選択する

準備:VOICEモードを選択しておきます(22ページ)。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	SD BASS VOICE MENU フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**「フォルダ選択」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● フォルダ選択画面が表示されます(現在選択されているフォルダを選択しています)。	SD BASS VOICE フォルダ選択 HDD−A HDD−B HDD−C HDD−D
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて再生するファイルが入っているフォルダ(HDDまたはSDのA・B・C・D)を選択する**	SD BASS VOICE フォルダ選択 HDD−A HDD−B HDD−C HDD−D

	操作とはたらき	液晶パネル表示
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● HDDまたはSDの選択したフォルダに切り換わります。	SD BASS VOICE 05.01.23 15:47 001(05.01.21 14:26) HDD-B 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP
5 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて、再生したいファイルを選択する** ● 選択されるまで時間がかかることがあります。	SD BASS VOICE 05.01.23 15:47 003(05.01.21 21:49) HDD-B 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP

ちょっとこれを！

● SDカードが入っていない場合は、SD-A･B･C･Dフォルダは表示されません。

● フォルダ選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、フォルダの詳細情報（ファイル数）を表示します。
MENU/EXITボタンを押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

MUSICモードでファイル（曲）を選択する

準備：MUSICモードを選択しておきます（22ページ）。

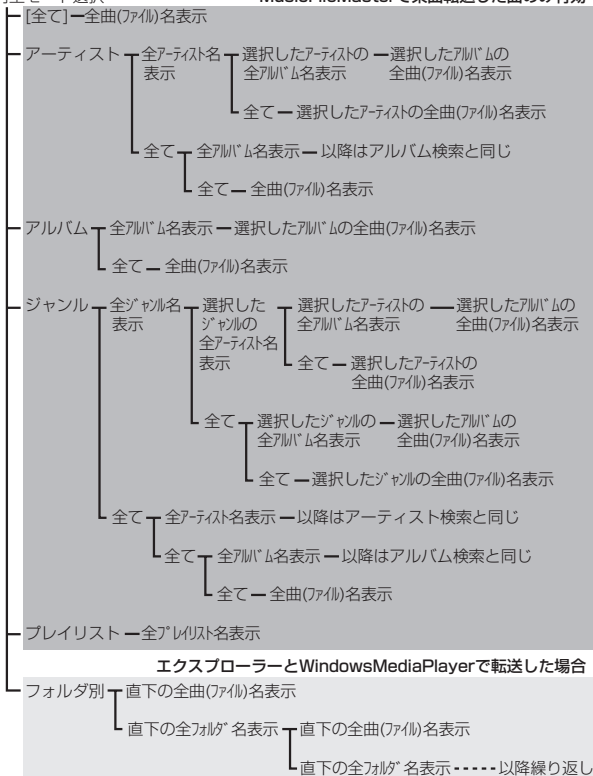
	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面（右図）が表示されます。	SD BASS MUSIC MENU 曲選択 再生設定 ファイル操作 システム設定

	操作とはたらき	液晶パネル表示
2 ⏮ ►/POWER ⏭	**「曲選択」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● 曲選択メニュー画面が表示されます。 ● SDカードが入っていない場合は、手順 **4** へ進みます。	SD BASS MUSIC 曲選択 Music (内蔵HDD) Music (SDカード)
3 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて再生するファイルが入っているメモリ(内蔵HDDまたはSDカード)を選択する**	
4 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 再生モード表示画面が表示されます。	SD BASS MUSIC Music HDD [全て] アーティスト アルバム ジャンル 例:内蔵HDD選択時
5 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて検索したい再生モード([全て]、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト、フォルダ別)を選択する** ※ 詳しくは39ページ「再生モードの選択画面について」参照。 ● SDカードを選択した場合は、“プレイリスト”と“フォルダ別”のみ表示します。	SD BASS MUSIC Music HDD アルバム ジャンル プレイリスト フォルダ別

	操作とはたらき	液晶パネル表示
6 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** ● 選択した再生モードの対象項目一覧が表示されます。	MUSIC フォルダ別 Jupitor Open Your Heart START.mp3 My-Best 例：フォルダ別選択時
7 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチをスライドさせて再生したい項目を選択する**	
8 I◀◀ ▶/POWER ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** ● ファイル(曲)を選択した場合は、MUSICモードの停止画面に戻ります。 ● 表示された項目をさらに細かく検索する場合は、手順 **7**、**8** を繰り返します。	MUSIC05.01.23 15:47 Open Your Heart DreamXDream Lovesong-2004 【音質】MP3 192kbps

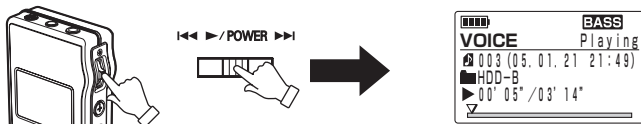
ちょっとこれを！

● ファイル選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、ファイルの詳細情報（曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイル名、ファイル形式、ビットレート、再生時間、作成年月日）の内、登録されている内容を表示します。また、フォルダ選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、フォルダの詳細情報（ファイル数、フォルダ数）を表示します。
MENU/EXITボタンを押すと、選択画面に戻ります。
● アーティスト名、アルバム名は、曲によって表示されない場合があります。
● 再生モード選択で[全て]を選択した場合は、全曲（ファイル）をさしています（アーティスト、アルバム、ジャンル別にある全てのファイル）。
● あまりに多くの曲を入れると動作の低下をまねきますので、目安として最大5000曲程度までをおすすめします。

再生モードの選択画面について

ちょっとこれを！

● MusicFileMasterの**[Tools]**メニューの「デバイスの楽曲管理ファイルを再作成」機能を使えば、エクスプローラやWindowsMediaPlayerで転送した楽曲も検索ができるようになります。

再生を開始する

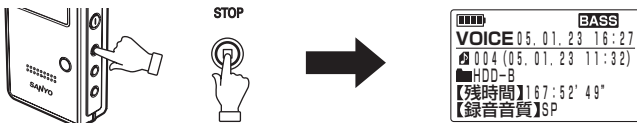
ジョグスイッチを押します。

再生を開始します。
液晶パネルに"Playing"を表示し、VOICEフォルダ内の音声ファイルを再生中はファイル番号(録音日時)とフォルダ名が表示され、その下に再生経過時間/再生総時間、再生経過グラフが表示されます。
MUSICフォルダ内の音楽ファイルを再生中は、曲名(またはファイル名)とアーティスト名が表示され、その下に再生経過時間/再生総時間、再生経過グラフが表示されます。

- 長い曲名やファイル名は、スクロール表示されます。

ご注意

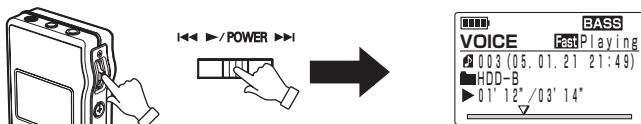
- 容量の大きいファイルまたは128MB以上の新しいSDカードは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3･WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

再生を途中で停止するには

STOPボタンを押します。

VOICEモード選択時は録音残時間と録音音質が表示され、MUSICモード選択時はフォルダ名(またはアルバム、プレイリスト名)、ファイルの種類とビットレートが表示されます。

再生スピードを切り換えるには(MP3のみ)

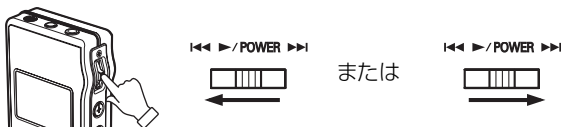
音声ファイルまたは音楽ファイルを再生中に、再生スピードを切り換えることができます。

再生中に、ジョグスイッチを押します。

ジョグスイッチを押すたびに以下の順に切り換わります。

→「速い(Fast表示)」....... 速いスピードで再生(標準の約1.5倍速)
↓
「遅い(Slow表示)」...... ゆっくりしたスピードで再生(標準の約0.75倍速)
↓
「標準(表示なし)」

- 再生を停止すると、再生スピードは標準スピードに戻ります。
- 早送り・早戻しまたはファイル送り・戻しをしても、再生スピードは標準スピードに戻りません。
- WMAファイルは再生スピードの切り換えはできません。標準スピードで再生されます。
- ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドして、1秒以上押し続けます。

現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■ **早送り(▶▶|)**

ファイルの最後まで早送りすると、早送りを解除して次のファイルの先頭から再生を始めます。

最終ファイルの早送り再生終了後、リピートオフの時は停止状態になり、1曲・全曲・ランダムリピート選択時は早送りを解除して次のファイルの先頭から再生を始めます。

■ **早戻し(|◀◀)**

ファイルの先頭まで早戻しすると、早戻しを解除してファイルの先頭から再生を始めます。

早送り・早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます。

ジョグスイッチから指をはなすと早送り・早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。

- **ジョグスイッチをスライドして押し続けると、早送り・早戻し再生の速度は順次変わっていきます。**

ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、ジョグスイッチを ◀◀ または ▶▶ 方向にスライドします。

連続でファイル送り・戻しをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ◀◀ または ▶▶ 方向にスライドして、押し続けます。
停止中にファイルを選択した場合は、**ジョグスイッチ**を押して再生を開始してください。

- 再生中に**ジョグスイッチ**を ◀◀ 方向にスライドさせると、再生中のファイルの頭に戻り再生されます。続けてスライドさせると、前のファイルに移動します。
- 再生中のファイルにインデックスマーク(34ページ)が付いているとき、**ジョグスイッチ**を ◀◀ または ▶▶ 方向にスライドさせると、インデックスサーチになります。

インデックスサーチするには

再生中に、ジョグスイッチを ◀◀ または ▶▶ 方向にスライドします。

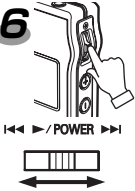
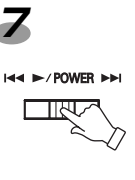
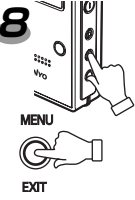
インデックスマーク(34ページ)をサーチし、その箇所から再生します。

- ファイルにインデックスマークが付いていないとき、**ジョグスイッチ**を ◀◀ または ▶▶ 方向にスライドさせると、ファイル送り・戻し動作になります。

MUSICモード時に曲をスキップするには

MUSICモードで曲を再生中に、10曲単位に曲をスキップ（送り方向のみ）することができます。

再生中に、ワイヤードリモコンのS.SKIPボタンを押します。

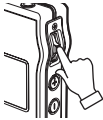
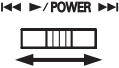
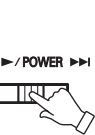
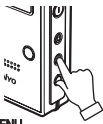
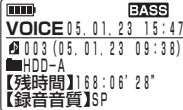
現在の再生モード	ボタンを押すたびに以下のように動作します
［全て］	再生中の曲から［全て］モードでの曲リスト順に10曲進んだ曲を再生する → ...
［全て］以外のモード（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト、フォルダ別）	再生モードが［全て］に切り換わり、［全て］モードでの曲リストの最初の曲を再生する → 再生中の曲から［全て］モードでの曲リスト順に10曲進んだ曲を再生する → ...

ご注意

- 停止中やMUSICモード以外、およびSDカードからの再生時は、**S.SKIP**ボタンを押しても動作しません。

お好みの音質で聞くには

再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

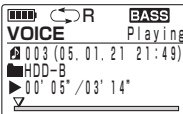
	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	BASS VOICE MENU フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作 例:VOICEモード選択時
2 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「再生設定」を選択する**	
3 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 再生設定メニュー画面が表示されます。	BASS VOICE 再生設定 リピート サウンド BASS
4 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「サウンド」を選択する**	
5 ⏮ ►/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● サウンド設定画面が表示されます(現在の設定がチェックされています)。	BASS VOICE サウンド ☑POP ■ROCK ■JAZZ ■NORMAL

操作とはたらき		液晶パネル表示
6 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて希望の音質を選択する**	
7 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 音質が確定し、再生設定メニュー画面に戻ります。	BASS VOICE 再生設定 リピート サウンド BASS
8 MENU EXIT	**MENU/EXITボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	BASS VOICE 05.01.23 15:47 003(05.01.23 09:38) HDD-A 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP

ちょっとこれを!

再生中に簡単に音質を変更することができます。
再生中に**MENU/EXIT**ボタンを押すと、再生設定メニュー画面が表示されますので手順 **4** ～ **7** と同様の操作をおこなった後、**MENU/EXIT**ボタンを押してください。

低音を強調するには

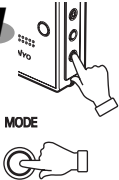
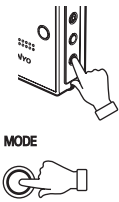
	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**45ページ手順 3 の操作で「BASS」を選択する**	
2 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**ジョグスイッチを押す** ● BASS設定画面が表示されます（現在の設定がチェックされています）。	VOICE BASS ☑OFF ■ON
3 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**ジョグスイッチをスライドさせて「ON」を選択する**	
4 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**ジョグスイッチを押す** ● BASS設定が確定し、再生設定メニュー画面に戻ります。	BASS VOICE 再生設定 リピート サウンド BASS
5 MENU EXIT	**MENU/EXITボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	BASS VOICE 05.01.23 15:47 003(05.01.23 09:38) HDD-A 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP

ちょっとこれを！

再生中に簡単にBASS設定を変更することができます。
再生中に**MENU/EXIT**ボタンを押すと、再生設定メニュー画面が表示されますので手順 ***1*** ～ ***4*** と同様の操作をおこなった後、**MENU/EXIT**ボタンを押してください。

リピート/ランダム再生について

音楽・音声ファイルを再生するときに、1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。また、ファイルをランダムに繰り返し再生することもできます。

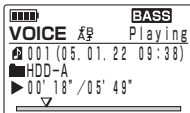
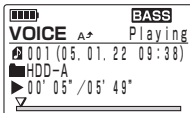
操作とはたらき		液晶パネル表示
1 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**45ページ手順 *3* の操作で「リピート」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● リピート選択画面が表示されます（現在の設定がチェックされています）。	BASS VOICE リピート ☑リピートオフ ■ 1曲リピート ■全曲リピート ■ランダムリピート
2 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**ジョグスイッチをスライドさせて希望のリピートモード※（1曲、全曲、ランダム）を選択する**	
3 ◀◀ ▶/POWER ▶▶	**ジョグスイッチを押す** ● リピートが確定し、再生設定メニュー画面に戻ります。	R BASS VOICE 再生設定 リピート サウンド BASS

	操作とはたらき	液晶パネル表示
4 MENU EXIT	**MENU/EXITボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	R BASS VOICE 05.01.23 15:47 003 (05.01.23 09:38) HDD-A 【残時間】168:06' 28" 【録音音質】SP
5 	**ジョグスイッチを押す** ● 選択したリピートモードで再生が開始されます。 ※ リピートモード 1曲：1つのファイルを繰り返し再生 全曲：現在選択中のフォルダまたはアルバム内の曲を繰り返し再生 ランダム：現在選択中のフォルダまたはアルバム内の曲を順不同に繰り返し再生	R BASS VOICE Playing 003 (05.01.21 21:49) HDD-B ▶00' 05"/03' 14"

ちょっとこれを！

再生中に簡単にリピートモードを変更することができます。
再生中に**MENU/EXIT**ボタンを押すと、再生設定メニュー画面が表示されますので手順 ***1*** ～ ***4*** と同様の操作をおこなった後、**MENU/EXIT**ボタンを押してください。

A-Bリピート機能について

A-Bリピート機能を使って、ファイル中の特定の区間を繰り返し再生することができます。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MODE	**再生中に、A-Bリピート再生したい場所の開始地点でMODEボタンを1回押す** ● A地点(リピート開始地点)が決定され、"A↗"が表示されます。	BASS VOICE A↗ Playing 001(05.01.22 09:38) HDD-A ▶00'05"/05'49"
2 MODE	**次に終了地点でMODEボタンをもう1度押す** ● B地点(リピート終了地点)が決定され、"A↗B"が表示されます。これで特定の区間(A地点−B地点)を繰り返し再生します。 ● A-Bリピート再生中に、MODEボタンを押すと、A-Bリピートが解除され通常の再生に戻ります。	BASS VOICE A↗B Playing 001(05.01.22 09:38) HDD-A ▶00'18"/05'49"

ご注意

- A地点やB地点の設定後に早送り・早戻しをしたり、再生スピードを切り換えると、A-Bリピート設定が解除されます。
- A-Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、そのファイルの最後をB地点と決定し、A-Bリピートを実行します。
- A地点とB地点の設定間隔は、2秒以上の間隔が必要です。
- 標準スピード以外で再生中にA-Bリピート設定すると、再生スピードは標準スピードに戻ります。

消去する

ご注意

消去する時は、充電池の残量が充分にあることを確認してください。

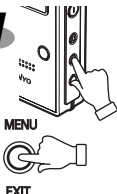
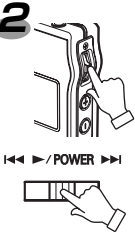
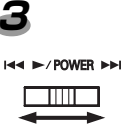
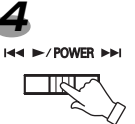
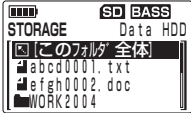
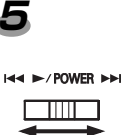
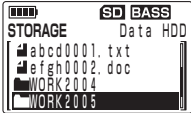
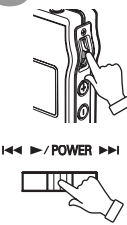
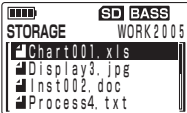
ファイルまたはフォルダを消去する

フォルダを消去する場合は、フォルダ内のいずれかのファイルを選択してください。そのファイルが含まれるフォルダ内の全ファイルとサブフォルダを消去します。

「ファイルまたはフォルダを消去する」で消去できるのは、本機で認識可能なファイルのみです。

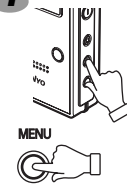
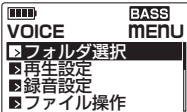
● 認識可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。

消去するファイル(フォルダ)を選択する

VOICEモードおよびMUSICモードでのファイルの選択方法は、「再生するファイルを選択する」(35〜38ページ)と同様に操作して、消去したいファイル(フォルダ)を選択します。

STORAGEモードでファイルを選択する

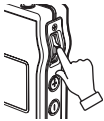
準備:STORAGEモードを選択しておきます(22ページ)。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。	SD BASS STORAGE MENU ファイル選択 SDバックアップ ファイルコピー フォルダコピー

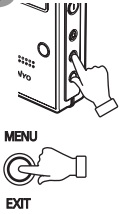
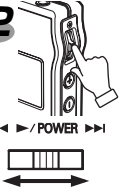
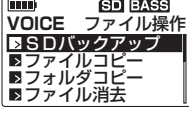
	操作とはたらき	液晶パネル表示
2	**「ファイル選択」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● ファイル選択メニュー画面が表示されます。 ● SDカードが入っていない場合は、手順 **4** へ進みます。	SD BASS STORAGE　ファイル選択 Data (内蔵HDD) Data (SDカード)
	ジョグスイッチをスライドさせて消去するファイルまたはフォルダが入っているメモリ(内蔵HDDまたはSDカード)を選択する	
	ジョグスイッチを押す ● DATAフォルダ内のファイル/フォルダ項目一覧と[このフォルダ全体]が表示されます。	
	ジョグスイッチをスライドさせて消去したいファイル、フォルダまたは[このフォルダ全体]を選択する ● フォルダ内のファイルを選択する場合は、ファイルが入っているフォルダを選択します。	

	操作とはたらき	液晶パネル表示

6

ジョグスイッチを押す

- ファイルまたは［このフォルダ全体］を選択した場合は、STORAGEモードの停止画面に戻ります。
- フォルダを選択した場合は、選択したフォルダ内のファイル/フォルダ項目一覧と［このフォルダ全体］が表示されますので、手順 **5**、**6** を繰り返します。

ちょっとこれを！

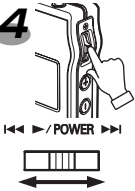
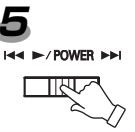
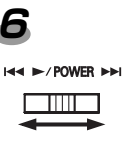
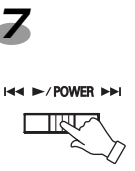
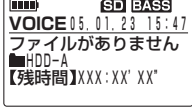
- ファイル選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、ファイルの詳細情報（ファイル名、ファイル容量、作成日時）を表示します。また、フォルダ選択中に**ジョグスイッチ**を2秒以上押すと、フォルダの詳細情報（ファイル数、フォルダ数）を表示します。
  フォルダをコピーする時は、コピーしようとする階層位置より8階層下までできます。
  MENU/EXITボタンを押すと、選択画面に戻ります。

2 消去する

	操作とはたらき	液晶パネル表示

1

停止状態でMENU/EXITボタンを押す

- 大分類メニュー画面（右図）が表示されます。
- STORAGEモードを選択中の場合は、手順 **4** へ進みます。

例：VOICEモード選択時

	操作とはたらき	液晶パネル表示
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「ファイル操作」を選択する**	
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● ファイル操作メニュー画面が表示されます。	BASS VOICE　ファイル操作 SDバックアップ ファイルコピー フォルダコピー ファイル消去
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「ファイル消去」または「フォルダ消去」を選択する**	BASS VOICE　ファイル操作 SDバックアップ ファイルコピー フォルダコピー ファイル消去
5 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● ファイルまたはフォルダ名が表示され、消去の確認画面が表示されます。	BASS VOICE　ファイル消去 HAI_0003.MP3 いいえ 実行
6 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「実行」を選択する** ● 実行を選択する前に、消去を途中で中止するには、「いいえ」を選択するか、STOPボタンを押します。	BASS VOICE　ファイル消去 HAI_0003.MP3 いいえ 実行

	操作とはたらき	液晶パネル表示
⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● “○○を消去中です”と表示した後、選択したファイルまたはファイルが含まれていたフォルダが消去され、停止画面に戻ります。 ● VOICEモードでファイルを消去した場合は、消去後のファイル番号は繰り上がります。	BASS VOICE 05.01.23 15:47 003(05.01.23 09:38) HDD-A 【残時間】168:06'28" 【録音音質】SP

基本操作

消去する

全データを消去する(フォーマットする)

選択した内蔵HDDまたはSDカードの内容がすべて消去されます。消去する前に必要なデータは、前もって必ずバックアップしてください。フォーマットするときは、必ずACアダプターを接続してフォーマットしてください。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 MENU EXIT	**停止状態でMENU/EXITボタンを押す** ● 大分類メニュー画面(右図)が表示されます。 ● STORAGEモードを選択中の場合は、手順 **4** へ進みます。	SD BASS VOICE MENU フォルダ選択 再生設定 録音設定 ファイル操作 例:VOICEモード選択時
2 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「ファイル操作」を選択する**	
3 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● ファイル操作メニュー画面が表示されます。	SD BASS VOICE ファイル操作 SDバックアップ ファイルコピー フォルダコピー ファイル消去

	操作とはたらき	液晶パネル表示
4 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「フォーマット」を選択する**	VOICE ファイル操作 ファイル消去 フォルダ消去 ファイル分割 フォーマット
5 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● フォーマット画面が表示されます。	VOICE フォーマット いいえ 内蔵HDD SDカード
6 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせてフォーマットする内蔵HDDまたはSDカードを選択する**	
7 ⏮ ▶/POWER ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● "○○をフォーマット中です" が表示された後、選択したメモリ内の全データおよび全設定値が消去され、停止状態に戻ります。	VOICE 05.01.23 15:47 ファイルがありません HDD-A 【残時間】XXX:XX' XX"

各種メニューの設定

共通操作

1. 停止状態でMENU/EXITボタンを押します。

- 大分類メニュー画面が表示されます。
- 一部メニュー項目が表示されます。その場合は手順 3. へ進んでください。

2. ジョグスイッチをスライドさせて、設定したいメニュー分類を選択し、ジョグスイッチを押します。

- 選択した各メニュー画面が表示されます。

3. ジョグスイッチをスライドさせて設定したいメニューを選択し、ジョグスイッチを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

- **ジョグスイッチ**をスライドさせて、各項目を選択し、**ジョグスイッチ**を押すと設定が決定され、各メニュー画面または停止画面に戻ります。メニュー画面が表示された時は、**MENU/EXIT**ボタンを1度または2度押すと、もとの停止画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。
- 設定中に、**STOP**ボタンが押された場合、各メニュー画面または停止画面に戻ります。

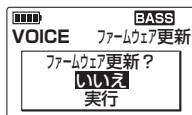
各種メニューと設定できる内容を次に示します。

※ 各メニュー画面で選択(選択表示がない場合は反転)しているのが初期設定値です。

直接表示されるメニュー項目

■ ファームウェアの更新(全モード選択中で必要な時に表示)

BASS
VOICE ファームウェア更新
ファームウェア更新？
いいえ
実行

web上からファームウェアのアップグレードファイルをダウンロードし、本機に転送してファームウェアのアップグレードをおこなうことができます。

パソコンに接続して、アップグレードファイルを本機の内蔵HDDのルートディレクトリに転送した後に操作してください(アップグレードファイルがない場合はこのメニューは表示されません)。

- **いいえ**:ファームウェアのアップグレードを中止します。
- **実行**:ファームウェアのアップグレードを実行します。

● ファームウェアのアップグレードは、インターネットの「http://www.sanyo-audio.com/icr/」に接続して確認してください。

■ フォルダ選択(VOICEモード選択中に表示)

フォルダを選択します。

- **HDD-A、HDD-B、HDD-C、HDD-D**:
  内蔵HDDのA、B、C、Dフォルダを選択します。
- **SD-A、SD-B、SD-C、SD-D**:
  SDカードのA、B、C、Dフォルダを選択します。

● SDカードが入っていない場合は、SD-A・B・C・Dフォルダは表示されません。

● 29ページ「録音するメモリ(HDD/SDカード)・フォルダを選択する」参照。

■ 曲選択(mUSICモード選択中に表示)

再生する曲を、再生モード([全て]、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト、フォルダ別)を指定して検索・再生します。

内蔵HDD/SDカードで指定できる再生モード

- **プレイリスト**:プレイリストを指定して検索し、プレイリスト単位で再生します。
- **フォルダ別**:フォルダ別に検索して、フォルダ単位で再生します。

内蔵HDDのみで指定できる再生モード

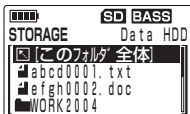
- **[全て]**:全てのファイルを検索し、再生します。
- **アーティスト**:アーティストを指定して検索し、アーティスト単位で再生します。
- **アルバム**:アルバムを指定して検索し、アルバム単位で再生します。
- **ジャンル**:ジャンルを指定して検索し、ジャンル単位で再生します。

● 39ページMusicFileMasterの「再生モードの選択画面について」参照。

■ ファイル選択(STORAGEモード選択中に表示)

DATAフォルダに保存されているファイルやフォルダを表示させて選択します。

- **Data(内蔵HDD)**:内蔵HDDに保存されているファイルやフォルダを表示します。
- **Data(SDカード)**:SDカードに保存されているファイルやフォルダを表示します。

● 51ページ「STORAGEモードでファイルを選択する」参照。

■ リピート（VOICE, MUSICモード選択中に表示）

リピートモード（1曲/全曲/ランダムリピート・解除）を選択することができます。

VOICE　リピート
☑リピートオフ
■1曲リピート
■全曲リピート
■ランダムリピート

- **リピートオフ**：繰り返し再生を解除します。
- **1曲リピート**：選択中の1曲を繰り返し再生します。
- **全曲リピート**：現在選択中のフォルダまたはアルバム内の曲を繰り返し再生します。
- **ランダムリピート**：現在選択中のフォルダまたはアルバム内の曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。

● 48ページ「リピート/ランダム再生について」参照。

■ サウンド（VOICE, MUSICモード選択中に表示）

再生する音楽に合わせた音質を選択することができます。

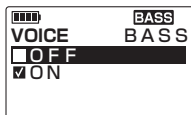
- POP：高音域を強調します。
- ROCK：低音域を強調します。
- JAZZ：中音域を強調します。
- NORMAL：低音域から高音域までフラットな音質にします。

● 45ページ「お好みの音質で聞くには」参照。

■ BASS(VOICE, mUSICモード選択中に表示)

低音域の強調モードのON/OFFを設定します。

- **OFF**:低音域を強調せずにフラットな音質で再生します。
- **ON**:低音域が強調された迫力のある音質で再生します。

● 47ページ「低音を強調するには」参照。

録音設定メニュー項目

■ 録音音質(VOICEモード選択中に表示)

BASS
VOICE 録音音質
LP
SP
HQ
XHQ

録音音質を設定します。

- **LP**:ロングモード
- **SP**:スタンダードモード
- **HQ**:ハイクオリティモード
- **XHQ**:エクストラハイクオリティモード

● 27ページ「録音モードを選択する」参照。

■ マイク感度(VOICEモード選択中に表示)

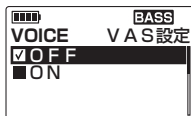
録音(マイク)感度(高/低)を設定します。

- **低感度**
- **高感度**

■ VAS設定(VOICEモード選択中に表示)

VASのON/OFFを設定します。

- **OFF**:VAS機能を使用しません。
- **ON**:VAS機能を使用します。

● 32ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照。

■ SDバックアップ(全モード選択中に表示)

SDカードのデータ(ルートから8階層まで)を内蔵HDDのDATAフォルダにバックアップします。

- **いいえ**:バックアップを中止します。
- **実行**:バックアップを実行します。

- ● SDカードが入っていない場合は、"SDカードがありません"と表示されます。
- ● 内蔵HDDの空き容量がSDカードのメモリ容量より少ない場合は、"容量が足りません"と表示されます。
- ● バックアップ中、以前にバックアップしたデータの中に同じファイル名のファイルが存在する場合は、確認画面が表示されます。"いいえ"または"実行"を選択して**ジョグスイッチ**を押してください。実行しますと、**同名ファイルは上書きされます。**
- ● SDカードの個別IDを認識して、SDカードごとにSDn(nは1,2,3,...の通し番号)フォルダを作成してバックアップをおこないます。
- ● SDカードを使用した場合、SDバックアップの所用時間はおおよそ以下の通りです。

1MB(デジカメ400万画素相当)のファイル数(ファイル容量)	コピー時間
50ファイル(約50MB)	約2分
100ファイル(約100MB)	約3.5分
200ファイル(約200MB)	約7.5分

この値は、あくまで目安であり保証するものではありません。なお、高速タイプのSDカードをご使用になりますとバックアップ時間は約3割短縮できます。

- ● SDバックアップ時のファイル数は、500程度までを推奨します。

■ ファイルコピー/フォルダコピー(全モード選択中に表示)

選択中のファイルまたは選択中のファイルが存在するフォルダを内蔵HDDの場合はSDカードに、SDカードの場合は内蔵HDDにコピーします。

VOICEまたはMUSICフォルダ内のデータは相手のMUSICフォルダに、DATAフォルダ内のデータは相手のDATAフォルダにコピーします。

- **いいえ**:バックアップを中止します。
- **実行**:バックアップを実行します。

● SDカードが入っていない場合は、"SDカードがありません"と表示されます。

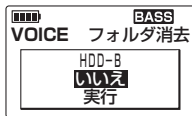
● コピー先の内蔵HDDまたはSDカードの空き容量がコピー元の容量より少ない場合は、"容量が足りません"と表示されます。

● コピー先に同じファイル名のファイルが存在する場合は、確認画面が表示されます。"いいえ"または"実行"を選択して**ジョグスイッチ**を押してください。

■ ファイル消去/フォルダ消去(全モード選択中に表示)

選択中のファイルまたは選択中のファイルが存在するフォルダを消去します。

- **いいえ**:消去を中止します。
- **実行**:消去を実行します。

● 51ページ「ファイルまたはフォルダを消去する」参照。

■ ファイル分割(VOICEモード選択中に表示)

ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。

- **いいえ**:ファイル分割を中止します。
- **実行**:現在の停止位置でファイル分割を実行します。

VOICEフォルダ内のHDD-AからHDD-D内のファイルを、ファイル分割したい個所で再生を停止してから分割してください。

- **録音時間の短いファイルやMUSICまたはDATAフォルダ内のファイルは、ファイル分割できません。**
- ファイル分割するにはメモリに空き容量が必要です。
- ファイル分割したファイルのインデックス情報は削除されています。

■ フォーマット(全モード選択中に表示)

内蔵HDDまたはSDカードをフォーマット(全データ消去)することができます。

- **いいえ**:フォーマットを中止します。
- **内蔵HDD**:内蔵HDD中の全データを消去します。
- **SDカード**:SDカード中の全データを消去します。

- 56ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照。

■ 現時刻設定（全モード選択中に表示）

現在の日時設定（年月日・時分）をおこないます。

YYYY年MM月DD日、HH時MM分

● 24ページ「日時を設定する」参照。

■ BEEP音（全モード選択中に表示）

警告音（BEEP音）のON/OFFを設定します。

・ **OFF**：警告音（BEEP音）を解除します。
・ **ON**：警告音を鳴らします。

■ オートパワーオフ（全モード選択中に表示）

停止時に何も操作しないで放置したとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

・ **1分**：1分間放置したときに電源が切れます。
・ **5分**：5分間放置したときに電源が切れます。
・ **15分**：15分間放置したときに電源が切れます。
・ **なし**：自動的に電源が切れません。

■ LCDコントラスト(全モード選択中に表示)

液晶画面のコントラストを調整します。

LCDコントラスト

淡(1)⇔濃(10)

BASS
VOICE LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
【LCDコントラスト】5
- +

■ LCDバックライト(全モード選択中に表示)

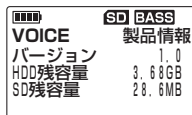
電源を入れて操作したときにバックライトの点灯する時間(秒)を設定します。

BASS
VOICE LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
OFF
5秒
15秒
常時ON

- **OFF**:バックライトを点灯しません(ただし、電源を入れたときのみ点灯します)。
- **5秒**:バックライトを5秒間点灯します。
- **15秒**:バックライトを15秒間点灯します。
- **常時ON**:バックライトを常時点灯します。

■ 製品情報(全モード選択中に表示)

ファームウェアのバージョンや、内蔵HDDとSDカードの残りの空き容量(残容量)を表示します。

● SDカードが入っていない場合は、SDカードの残容量は表示されません。

パソコンに接続して使う

USB接続時は自動的に充電状態になります（17ページ）。

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS（日本語版）	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows Millennium Edition（Me） Windows 2000 Professional
USBポート	本製品接続時に1つ必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT、98、98SE
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。

本機が正しく認識されているか確かめるには

本機をパソコンのUSBポートに接続し、機器が正常に認識されているか、確認してください。

※ 本機を接続したときに「'(ファイル名)' が見つかりません。」と表示された場合、Windowsシステムの CD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

1. **本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。**

   デスクトップ上の[**マイコンピュータ**]を右クリックし、表示されるメニューから[**プロパティ**]を選択して[**システムのプロパティ**]画面を開きます。[**ハードウェア**]タブ内の[**デバイスマネージャ**]ボタンをクリックして[**デバイスマネージャ**]を開きます。

   [**ディスクドライブ**]と[**USBコントローラ**]を開いて、下図のように表示されていれば、本機が正しく認識されています。

ご使用のOSによってはディスクドライブ名が異なります。

- Windows 2000/XP : SANYO IC/HDD Recorder USB Device
- Windows ME : SANYO IC/HDD Recorder

上図のような表示にならない場合、次ページ「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、手順に従って操作をおこなってください。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をおこなってください。
接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外しておいてください。

1. 他に使用しているUSB機器があれば、それらをすべて外して本機を単独で接続する。
2. パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
3. USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接専用USB接続ケーブル（付属）を使用して本機を接続する。
4. 接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用する。

MusicFileMasterとは

パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを自由に選んで、MusicFileMasterに取り込んで（インポート）、音楽ファイルを管理（ライブラリ機能）することができます。また、それらの楽曲をポータブルデバイスへ転送し、ポータブルデバイスに転送した音楽ファイルを管理（ライブラリ機能）することができるソフトウェアです。
MusicFileMasterには目的に応じて2つのモードを切り換えて操作します。

1. ライブラリモード： ミュージックファイルの再生、管理、プレイリストの作成をおこなう
2. ポータブルデバイスモード： ポータブルデバイスへミュージックファイルの転送、管理およびポータブルデバイスのミュージックファイルの再生などをおこなう

MusicFileMasterのインストール

※このときは、まだ付属の専用USB接続ケーブルをパソコンから外しておいてください。

ここではお手持ちのパソコンに、MusicFileMasterをインストールする方法を説明します。

※ 本書ではWindows XPで説明をしています。OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

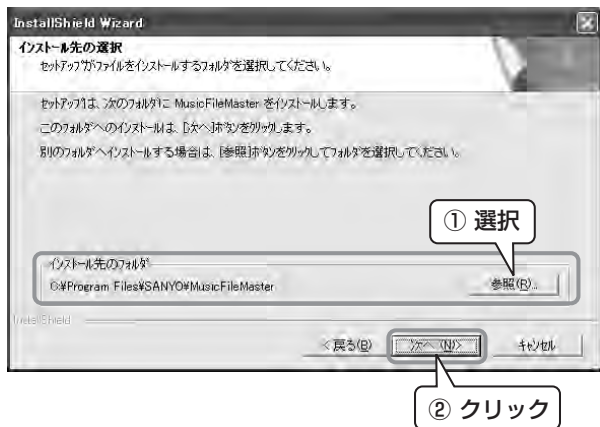
付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に[InstallShield Wizard]画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

3 MusicFileMasterをパソコンにインストールする

1. 画面の指示に従い、**[次へ]**をクリックしてください。

2. 使用許諾契約の内容を確認後、**[はい]**（使用許諾契約に同意する）をクリックします。
   使用許諾契約に同意されない場合は、MusicFileMasterはインストールされませんのでご注意ください。

3. ユーザー名を入力・確認後、**[次へ]**をクリックしてください。

4. MusicFileMasterをインストールするフォルダを設定します(ドライブのルート(C:¥、D:¥など)には、インストールしないでください)。
[インストール先のフォルダ]を確認後、**[次へ]**をクリックしてください。
※ インストール先のフォルダをとくに変更する必要がない場合は、①の選択をせず、②の**[次へ]**をクリックし、このままの場所にインストールされることを推奨します。

5. インストールが完了すると、以下の画面を表示します。
まず、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。
[完了]をクリックしてからパソコンを再起動してください。

これでMusicFileMasterがインストールされました。

ご注意

● インストールしたフォルダおよびデスクトップの[マイドキュメント]-[MusicFileMaster]のフォルダはソフトウェア「MusicFileMaster」が使用します。削除、移動、内容の変更などはおこなわないでください。

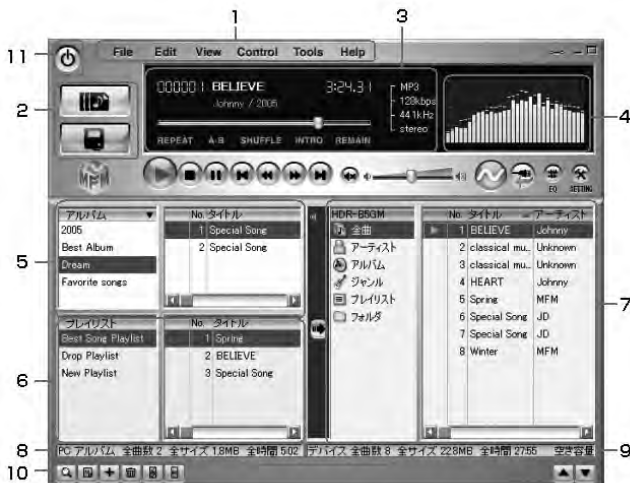
MusicFileMasterを起動する

HDDボイスレコーダーとパソコンを専用USB接続ケーブルで接続し、デスクトップに作成された「MusicFileMaster」アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動させます。

ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。

MusicFileMasterウインドウの各部のなまえ

くわしくは、オンラインヘルプをご覧ください。

1. **メニューバー**
   各操作メニューを表示します。メニュー内容は、モードにより異なります。

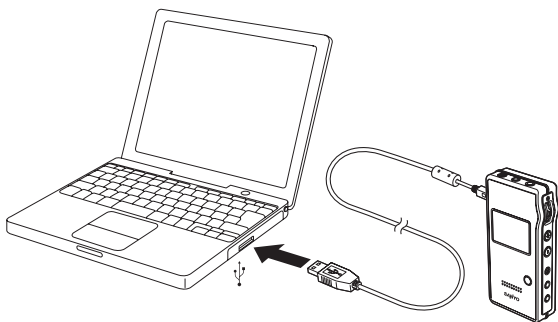
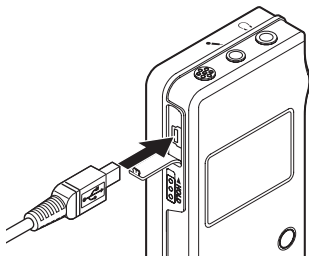
2. **モード切替ボタン**
   MusicFileMasterのモードを切り替えます。
3. **ミュージックファイルの情報表示**
   ミュージックファイルのタイトル、時間などの情報を表示します。
4. **スペアナ表示**
   スベクトラムアナライザー表示します。
5. **ライブラリ**
   パソコン側のミュージックファイルのリストを表示します。
   [ライブラリ]モードで表示されます。表示は、[全曲]、[アーティスト/アルバム]、[ジャンル]、[フォーマット]別に表示させることができます。
6. **プレイリスト**
   パソコン側のライブラリのミュージックファイルを自由に組み合わせ作成したプレイリストを表示します。
7. **ポータブルデバイス側のライブラリ**
   ポータブルデバイスの楽曲情報一覧を表示します。
8. **パソコン側楽曲情報表示**
   パソコン内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間を表示します。
9. **デバイス側楽曲情報表示**
   ポータブルデバイス内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間、空き容量を表示します。
10. **リストコントロールボタン**
    リストを操作するボタンです。
11. **終了ボタン**
    MusicFileMasterを終了するボタンです。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには

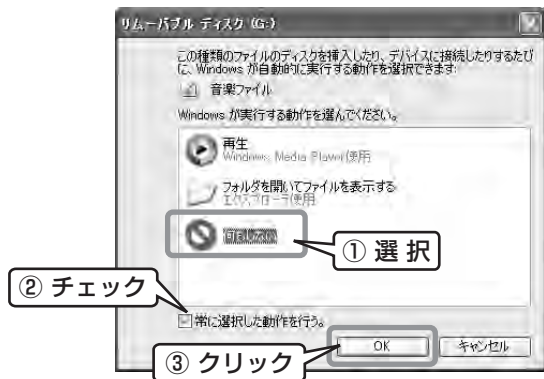
● MusicFileMasterを起動した状態で、**[Help]**メニューから**[目次]**を選択して、くわしい説明の項目をご覧ください。

本機をパソコンに接続する

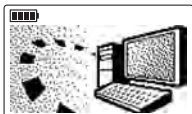
本機のＵＳＢ保護カバーをあけて、専用ＵＳＢ接続ケーブル（付属）を使用してパソコンのUSB端子に接続します。このとき、USBコネクタの接続方向に気をつけて接続してください。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- 本機の充電池に電池残量が全くない場合はパソコン接続はできません。ACアダプターで充電してからパソコン接続してください。
- 使用するパソコンにはじめて接続する時、まれにリムーバブルディスクとして認識しない場合があります。その時は再度接続してください。
- パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面、背面など）は、正しく認識されないことがあります。その時は、別のポートに本機を接続してください。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USBコネクタ部を持って抜き差ししてください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

接続後、以下の画面が表示されます（Windows XPのみ）。
Windows Me/2000に関しては、この操作はありません。（以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では[何もしない]を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は次ページのような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
本機をパソコンから取り外すときは、80ページの「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

[パソコン接続時の本機表示]

[パソコンとの通信時の本機表示]

※図中の ■■■ 部分がアニメーション表示します。

本機をパソコンから取り外す

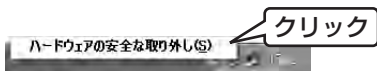
本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順に従って取り外してください。

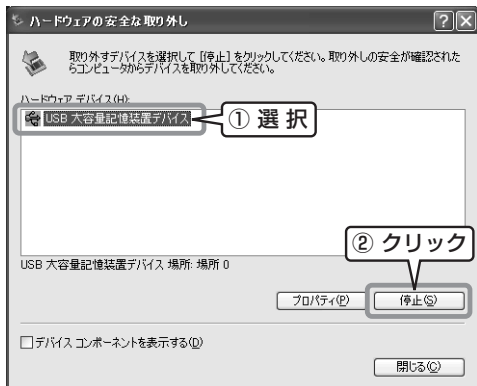
OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
(以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)

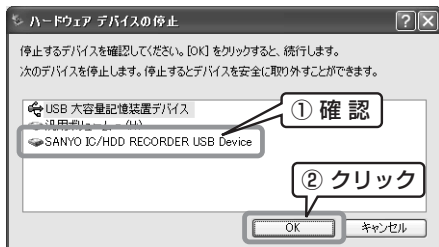
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンをクリックします。

※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO IC/HDD RECORDER USB Device]が一覧内に表示されていることを確認して、**[OK]**をクリックします。

本機をパソコンから取り外してください。

エクスプローラでの表示

1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindows XPの**エクスプローラ**を起動してください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニューから**[エクスプローラ]**を選択します。

これで、**エクスプローラ**が起動します。

2 リムーバブルディスクの表示について

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**HDR(リムーバブルディスク)として内蔵HDDが表示**され、内蔵HDDに記録された内容を表示することができます。

内蔵HDD

[VOICEフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダです。
パソコンに保存したVOICEフォルダのデータを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生することができます。

- 内蔵ＨＤＤの**A** フォルダに**内蔵マイク**で録音したファイルは、"H**AI**_XXXX(ファイル番号).MP3"、**外部マイク**で録音したファイルは、"H**AO**_XXXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICEフォルダ内の**A**フォルダに保存されます。
- 録音されたときに音声ファイルと同名の"HAI_XXXX.INX"というファイルを作成して、インデックスでファイル管理をしています。インデックスファイルをパソコンで消去できますが、インデックス情報はなくなります。

- B･C･Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A･B･C･Dフォルダはそれぞれ最大250ファイルまで保存できます。
- VOICEフォルダ内のファイルは、A～Dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
  例えば、Bフォルダ内のHBI_0001.MP3(SBI_0001. MP3)は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルは本機では再生できなくなりますのでご注意ください。

[MUSICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

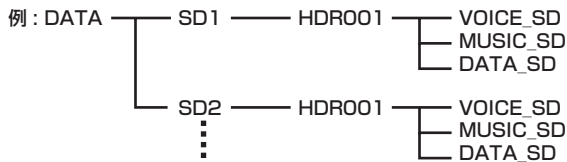
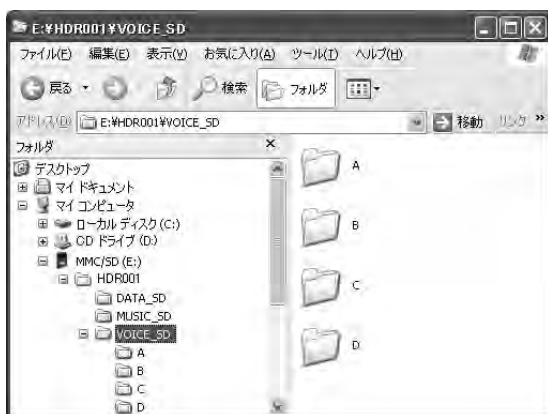
- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式(著作権なしのみ)のファイルに限ります。
- MUSICフォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
  また、MUSICフォルダの1つ下に作成したフォルダも同様に再生順が変わる場合があります。
- MUSICフォルダの下にお好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとにファイルを入れることができます。
  MUSICフォルダの下に、2階層までのサブフォルダに含まれるファイルを再生することができます。

[DATAフォルダ]

リムーバブルディスクとして、(EXCEL･WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。
本機ではDATAフォルダに音声や曲を入れて再生することはできません。

[SETSYSTM.ICR、INFSYS.SPR]

パソコンの設定で隠しファイルが見えるように設定している場合、USB接続をするとこのファイルを見ることができますが、このファイルを削除すると、電源を再び入れたときに**各設定値**が初期化されます。
設定値とは、音量･録音モード･再生モード･ビープ音などの設定のことです。

［SDn（カード番号）フォルダ］
SDカードのバックアップファイルを保存するフォルダです。
SDバックアップを実行すると、SDカードの個別IDを認識して、SDカードごとにSDn（nは1,2,3,...の通し番号）フォルダを作成します。
フォルダ構成は下記のようになります。

外部メモリ(SDカード)

本機をパソコンに接続したとき、パソコンよりSDカードの内容を直接参照することはできません。

● SDカードの内容を直接参照するには、市販のメモリカードリーダライタなどを使用するとSDカードに記録された内容を表示することができます。詳しくはお使いになるメモリカードリーダライタの取扱説明書をご覧ください。

[VOICE_SDフォルダ]
本機にて録音したファイルを保存するフォルダです。

- 外部メモリの**A**フォルダに**内蔵マイク**で録音したファイルは、"S**AI**_XXXX(ファイル番号).MP3"、**外部マイク**で録音したファイルは、"S**AO**_XXXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICE_SDフォルダ内の**A**フォルダに保存されます。
- 録音されたときに音声ファイルと同名の"SAI_XXXX.INX"というファイルを作成して、インデックスでファイル管理をしています。インデックスファイル(マーク)をパソコンで消去できますが、再付加はできません。
- B・C・Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A・B・C・Dフォルダはそれぞれ最大250ファイルまで保存できます。
- VOICE_SDフォルダ内のファイルは、A〜Dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。例えば、Bフォルダ内のSBI_0001.MP3は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルは本機では再生できなくなりますのでご注意ください。

[MUSIC_SDフォルダ]
パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式(著作権なしのみ)のファイルに限ります。
- MUSICフォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
また、MUSICフォルダの1つ下に作成したフォルダも同様に再生順が変わる場合があります。
- MUSIC_SDフォルダの下にお好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとにファイルを入れることができます。
MUSIC_SDフォルダの下に、2階層までのサブフォルダに含まれるファイルを再生することができます。

[DATA_SDフォルダ]
リムーバブルディスクとして、(EXCEL・WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。
本機ではDATA_SDフォルダに音声や曲を入れて再生することはできません。

MusicFileMasterを使ってデータを転送する

75ページ「MusicFileMasterを起動する」と同様の手順で、MusicFileMasterを起動します。

1 録音した音声データをパソコンに保存する

オンラインヘルプより**[Help]**メニューから**[目次]**を選択した後、**[基本操作]**をクリックし、**[ポータブルデバイス]**の**[ポータブルデバイスで録音したファイルをバックアップしよう]**をクリックして、表示された手順に従って操作します。

2 ファイルを本機に転送する

オンラインヘルプより**[Help]**メニューから**[目次]**を選択した後、**[基本操作]**をクリックし、**[ポータブルデバイス]**の**[ミュージックファイルをポータブルデバイスへ転送しよう]**をクリックして、表示された手順に従って操作します。

ちょっとこれを！

- MusicFileMasterの楽曲制限については、曲数が多くなると動作が遅くなりますので、5000曲程度を目安としてください。
  また、パソコンの環境によっては動作しない場合があります。
- MP3とWMA（著作権なし）がMusicFileMasterでデバイスへ転送し再生できるファイルです。ただし、拡張子がRMP(Riff MP3)は再生できません。また、可変ビットレートなど全てのMP3とWMAが転送できますが、正しく再生できないことがあります。

エクスプローラを使ってデータを転送する

82ページ「エクスプローラを起動する」と同様の手順で、エクスプローラを起動します。

録音した音声データをパソコンに保存する

エクスプローラを2画面立ち上げて、左画面でHDR(リムーバブルディスク)内のコピーしたい音声データファイルを選択して、右画面のパソコンの任意のフォルダにドラッグ&ドロップします。

ここではVOICEファイルの例を示しています。

ちょっとこれを!

- Windows XPのみエクスプローラでの画面表示は「HDR」と表示しWindows Me,2000での画面表示は「リムーバブルディスク」として表示します。本書ではWindows XPで説明しているため、「リムーバブルディスク」ではなく「HDR」として画面表示し、本文にも説明しています。

2 ファイルを本機に転送する

エクスプローラを2画面立ち上げて、右画面で本機で再生したいMP3ファイルを選択して、左画面のHDR(リムーバブルディスク)のMUSICフォルダにドラッグ&ドロップします。

ご注意

- 再生したいファイルは必ずMUSICフォルダもしくはその下2階層までのフォルダに入れてください。
- エクスプローラを使って音楽データを転送した場合は、再生モードの選択がフォルダ別検索でのみ音楽ファイルを検索することができます。
- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客様が転送したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- 転送可能な1ファイルあたりの最大サイズは4GBです。

転送するフォルダ･ファイルに関しては、83～86ページを参照してください。

ちょっとこれを!

- MusicFileMasterの**[Tools]**メニューの「デバイスの楽曲管理ファイルを再作成」機能を使えば、エクスプローラやWindowsMediaPlayerで転送した楽曲も検索ができるようになります。

Windows Media Playerを使ってデータを転送する

Windows Media™ Playerについて

Microsoft Windows Media Playerをインストールしていれば、WMAファイルを本機に転送して聞くことができます。
操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。
※ OSのバージョンやメーカーにより、お客様のパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

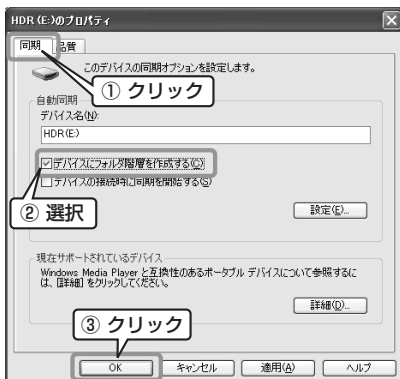
● **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

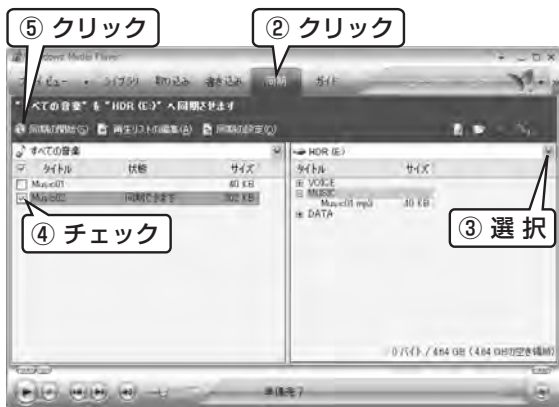
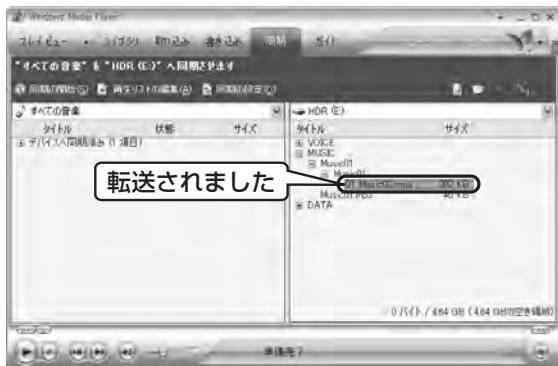
Windows Media Player 10の設定を変更する(Windows XPのみの場合)

Windows Media Player 10を使用するには設定を変更する必要があります。以下の手順に従って設定を変更・確認してください。

1. **[スタート]**メニューから**[すべてのプログラム]-[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。
2. プレーヤー右上のボタンをクリックしてメニューを表示させて、**[ツール]-[オプション]**を選択します。

3. **[オプション]**画面が開きますので、**[デバイス]**タブをクリックして**[デバイス]**画面を開いて、**[HDR(リムーバブルディスク)]**を選択し、**[プロパティ]**をクリックします。

4. **[プロパティ]**画面が開きますので、**[同期]**タブをクリックして**[同期オプション]**画面を開いて、**[デバイスにフォルダ階層を作成する]**を選択し、**[OK]**をクリックします。

Windows Media Player10を使用してデータを転送する（Windows XPのみの場合）

1. **[スタート]**メニューから**[すべてのプログラム]-[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。
2. **[同期]**をクリックします。
3. 右側のプルダウンメニューから、転送先の**[HDR(リムーバブルディスク=内蔵HDD)]**を選択するとファイルが表示されます。表示されない場合は、プレーヤー右上のボタンをクリックしてメニューを表示させて、**[表示]-[最新の情報に更新]**を選択してください。
4. 本機に転送したい音楽のチェックボックスにチェックマークをつけます。
5. **[同期の開始]**ボタンをクリックします。

6. **[状態]**が、**[転送しています]**から**[デバイス同期済み]**に変わったら、転送完了です。

Windows Media Player9を使用してデータを転送する

1. **[スタート]**メニューから**[すべてのプログラム]-[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。
2. **[デバイスへ転送]**をクリックします。

3. 右側[**デバイス上の項目**]の下のプルダウンメニューから、転送先の[**HDR(リムーバブルディスク=内蔵HDD)**]を選択するとファイルが表示されます。表示されない場合は、[**表示**]メニューから[**最新の情報に更新**]を選択してください。
4. 本機に転送したい音楽のチェックボックスにチェックマークをつけます。
5. [**転送**]ボタンをクリックします。
6. [**状態**]が、[**転送しています**]から[**完了**]に変わったら、転送完了です。

ご注意

- 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。
- 本機で再生・転送できるフォルダは、MUSICフォルダの下2階層までです。

WMAを本機に転送する際の注意事項

パソコンから本機に転送および再生できないケースとして、以下のものがあります。

・ 著作権保護のされている音楽ファイル
・ インターネットで購入した音楽ファイル

● MusicFileMasterの**[Tools]**メニューの「デバイスの楽曲管理ファイルを再作成」機能を使えば、エクスプローラやWindowsMediaPlayerで転送した楽曲も検索ができるようになります。

再生順序の指定（プレイリスト）について

本機では、音楽の再生順序を指定することができます。
お手持ちのパソコンにてプレイリストを作成して、本機に転送することにより、ご希望の順番に音楽を再生することができます。
また、本機には複数のプレイリストを転送することができます。

■ 本機のプレイリスト作成方法

1. 75ページ「MusicFileMasterを起動する」と同様の手順で、MusicFileMasterを起動します。
2. オンラインヘルプより**[Help]**メニューから**[目次]**を選択した後、**[基本操作]**をクリックし、**[ポータブルデバイス]**の**[ポータブルデバイスのプレイリストを作成／削除しよう]**をクリックして、表示された手順に従って操作します。

本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ずACアダプターを使って本機でおこなうようにしてください。パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには56ページの「**全データを消去する（フォーマットする）**」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

廃棄時の充電池の処理について

⚠ 警告（廃棄する時以外は開けないでください）

本機には、リチウムイオン充電池を内蔵しております。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に際しては、リチウムイオン充電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。

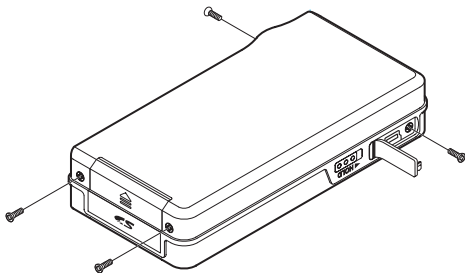
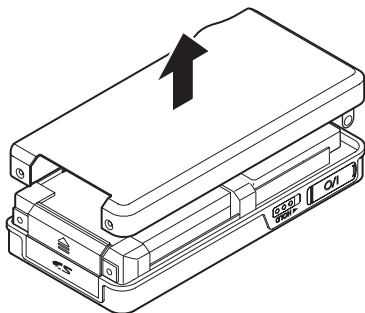
ご注意

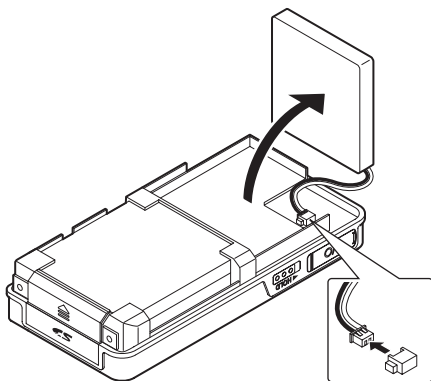
- 一度お客さまが開けられますと、本製品の保証はできません。
- 本機を廃棄するとき以外は、絶対に本機を分解しないでください。
- 内蔵の充電池を取り出すときは、充電池を完全に使い切ってから取り出してください。

内蔵の充電池を取り出すには

1 **電源が入っている場合は、ジョグスイッチ（POWER）を2秒以上押して電源を切る。**

2 **本体底面と両側面にあるネジ4本を外す。**

- 側面のネジ1本はUSB保護カバーをあけた場所にあります。

3 本体裏面のカバーを外す。

4 内蔵の充電池を本体から取り出し、接続されているコネクターを引き抜く。

お願い

- 取り外した充電池は、お買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちいただくか、各地方自治体の指示(条例)に従ってリサイクル処理をしてください。なお、取り外した充電池は単品では販売していません。交換についてはお買い上げの販売店またはお近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　因	充電池切れである
解決方法	内蔵の充電池を充電してください。 16ページ「充電池を充電する」参照

原　因	内蔵HDDまたは外部メモリ(SDカード)が異常である
解決方法	内蔵HDDまたは外部メモリをフォーマット(初期化)してから、再度録音しなおしてください。 56ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

ボタンを押しても反応しない

原　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 21ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから外してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 23ページ「音量を調節する」参照

VOICE(A・B・C・D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、VOICEフォルダでは再生できません。ファイル名を"HX(フォルダ名)X(I:内蔵マイクまたはO:外部マイク)_XXXX(ファイル番号).MP3に戻してください。または、MUSICフォルダに転送して再生してください。

MUSICフォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護のされている音楽ファイル ・インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A・B・C・D)やDATAフォルダに入れても、本機で再生できません。必ず内蔵HDD内のMUSICフォルダ内に転送してください。 83ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3･WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　　因	プレイリスト再生時、リストに書かれているファイルがMUSICフォルダ直下にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSICフォルダ内にそのファイルを転送してください。

MUSICモードで曲選択時、アーティスト･アルバム･ジャンルの検索ができない

原　　因	転送された楽曲のデータベースが作成されていない
解決方法	付属ソフト「MusicFileMaster」で転送した楽曲のデータベースを作成してください。 データベースの再作成について詳しくは、「MusicFileMaster」のオンラインヘルプ参照

ファイル分割ができない

原　　因	ファイルの録音時間が短かすぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約32秒以上、SP…約16秒以上、 HQ…約8秒以上、XHQ…約4秒以上

原　　因	メモリの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 51ページ「ファイルまたはフォルダを消去する」参照

日時が正しく表示されない

解決方法	現日時設定が初期化されていますので日時を再設定してください。 24ページ「日時を設定する」参照

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルのUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 78ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機を接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 78ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。

原　　因	充電池が完全に放電していて、パソコンに接続ができない
解決方法	ACアダプターを接続して充電池を充電してください。 16ページ「充電池を充電する」参照

ファイルが消去できない

原　　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 または、内蔵HDDまたは外部メモリ(SDカード)のフォーマット(初期化)をおこなってください。 56ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

パソコンから本機へのデータの転送速度が遅い

原　　因	パソコンのUSB1.1に接続している
解決方法	USB2.0のHigh Speed対応ポートに接続してください。

録音するとノイズが聞こえる

解決方法	内蔵HDDまたは外部メモリ(SDカード)のフォーマット(初期化)をおこなってください。 56ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

録音した内容の音が途切れる

原　因	VAS(音声起動録音)設定が"ON"になっている
解決方法	VAS設定を"OFF"にして録音してください。 32ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照

MusicFileMasterで本機が正しく認識されない

原　因	本機をパソコンでフォーマット後、すぐにMusicFileMasterを起動した
解決方法	本機でフォーマットしてからパソコンに接続し、MusicFileMasterを起動してください。 56ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

その他のよくあるご質問は、当社ホームページのサポートページ"http://www.sanyo-audio.com/icr/"にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

録音残時間表示について

本機ではVOICEモードの停止状態においては全容量(5GB)に対しての空き容量の時間が"残時間"として表示されますが、録音状態にした時の残時間表示は空き容量により変わります。

1.空き容量が4GBを超える場合

残時間表示は4GBからの録音残時間表示になりますが、一度録音を止めてもなお、4GB以上の空き容量が残っている場合は、再び録音する場合、4GBからの録音残時間表示になります。

2.空き容量が4GBを超えない場合

残時間表示は全容量(5GB)に対する空き容量と同じ録音残時間表示となります。VOICEモードの停止状態での残時間表示と録音時の残時間表示とは同じ時間表示となります。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

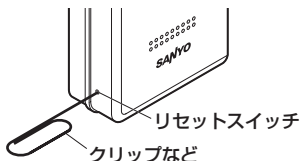
● ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

本機の電源をリセットする

使用中に本機を落として動作が不安定になった場合は、本機のハードディスク部が壊れている場合があります。
このような時に**リセットスイッチ**を押してもリセットされないことがあります。

通常リセットする時は、動作中に表示や動作が異常になったときリセットします。
表示や動作が異常になっていない時には、絶対にリセットスイッチを押さないでください。

主な仕様

内蔵HDD	：5GB
カードスロット	：SDカードスロット
対応OS	：Windows XP/Me/2000
録音時間	：約693時間(LP時)　約173時間(SP時) 約86時間(HQ時)　約57時間(XHQ時)
録再周波数特性	：40～5,000Hz(LPモード、モノラル) 40～10,000Hz(SPモード、ステレオ) 40～15,500Hz(HQモード、ステレオ) 40～15,500Hz(XHQモード、ステレオ)
録音フォーマット	：MP3
再生フォーマット	：MP3(MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3)・WMA
再生周波数	：20～20kHz
サンプリング周波数	：16～44.1kHz
再生対応ビットレート	：16～192kbps(MP3)・32～160kbps(WMA)
S/N比	：88dB
入・出力端子	：USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ/ステレオ外部マイク
動作温度	：+5℃～+35℃
定格出力(ヘッドホン)	：4.5mW+4.5mW(JEITA/DC)
電源	：リチウムイオン電池(充電式)
充電時間	：約3時間(ACアダプター・USB充電)
電池持続時間(JEITA)	：満充電時約7.5時間(LPモード/連続録音時間) 満充電時約8.5時間(LPモード/連続再生時間)ヘッドホン再生時 ※ 連続録音再生時間は、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅45×高さ94×奥行き19mm
質量	：約93g(電池含む)
付属品	：ACアダプター (1)、ワイヤードリモコン (1) 専用USB接続ケーブル (1)、キャリングポーチ (1) ステレオピンマイク (1)、本書(保証書付) (1) 基本操作ガイド (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン (1) CD-ROM(MusicFileMaster) (1)

※ 内蔵HDDの特性により、録音時間が短くなることがあります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の98ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、本体下部のSDカードスロット部に貼ってあるシリアルNo.のラベルをご確認して、シリアルNo.をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。
製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

HDDデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口: 家電製品についての全般的なご相談

修理相談窓口: 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談） 三洋電機(株) お客さまセンター

相談受付時間　9:00～18:30

地区		電話番号
北海道地区	☎ 札　幌	(011)290-1522
東北地区	☎ 仙　台	(022)714-6137
関東地区	☎ 東　京	(03)3815-1111
中部・北陸地区	☎ 名古屋	(052)533-5245
近畿・四国地区	☎ 大　阪	(06)6994-9570
中国地区	☎ 広　島	(082)297-6067
九州・沖縄地区	☎ 福　岡	(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

● **三洋電機(株)　お客さまセンター**

FAX　☎ (06)6994-9510

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談） 三洋コンシューマーマーケティング(株)

受付時間　月曜日〜金曜日　[9:00〜18:30]
土曜･日曜･祝日　[9:00〜17:30]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　☎ **東京**　(03)5302-3401
西日本コールセンター　☎ **大阪**　(06)4250-8400

関東･首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話番号をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

地区	都市	電話番号
北海道地区	札　幌 ☎	(011)833-7888
東北地区	仙　台 ☎	(022)382-2213
長野地区	長　野 ☎	(0263)26-1772
新潟地区	新　潟 ☎	(025)285-2451
福島地区	福　島 ☎	(024)945-6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

地区	都市	電話番号
北陸地区	金　沢 ☎	(076)237-6650
東海地区	名古屋 ☎	(052)979-3456
中国地区	広　島 ☎	(082)293-9333
四国地区	高　松 ☎	(087)844-8321
九州地区	福　岡 ☎	(092)922-9311

沖縄地区　沖　縄 ☎　(098)944-5018
受付時間　月曜日〜土曜日（日曜、祝日および当社の休日を除く）
[9:00〜12:00 、13:00〜17:30]

「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間: 月曜日～土曜日(日曜、祝日を除く) [9:00～17:30]

北 海 道 地 区

札 幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函 館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫 小 牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭 川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北 見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧 路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東 北 地 区

仙 台	(022)384-0444	〒981-1225	宮城県名取市飯野坂3-4-8
青 森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八 戸	(0178)28-9225	〒039-1103	青森県八戸市長苗代字観音堂50-5
盛 岡	(019)635-0136	〒020-0863	岩手県盛岡市南仙北1-13-6
水 沢	(0197)23-6621	〒023-0003	岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45
山 形	(023)641-1769	〒990-2432	山形県山形市荒楯町1-21-30
酒 田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋 田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田県秋田市旭南3-2-67
郡 山	(024)945-6793	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関東・甲信越地区

さいたま	(048)664-2319	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　木	(028)653-2811	〒321-0106	栃木県宇都宮市上横田町1302-12
茨　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群　馬	(027)362-1151	〒370-0001	群馬県高崎市中尾町池の内441
西関東	(0276)22-7702	〒373-0015	群馬県太田市東新町72-2
新　潟	(025)285-2431	〒950-0971	新潟県新潟市近江244
長　岡	(0258)24-0705	〒940-0029	新潟県長岡市東蔵王2-3-46
上　越	(0255)43-3535	〒942-0074	新潟県上越市石橋2-2-9
城　東	(03)3607-3191	〒125-0051	東京都葛飾区新宿4-10-15
城　北	(03)3958-1261	〒173-0021	東京都板橋区弥生町72-5
城　西	(03)3376-3361	〒151-0073	東京都渋谷区笹塚3-1-13
武蔵野	(042)364-7721	〒183-0045	東京都府中市美好町2-3-1
戸　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原	(042)742-2272	〒228-0805	神奈川県相模原市豊町17-11
平　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-63
千　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋町5-20
鎌ケ谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0011	愛知県名古屋市東区白壁5-41
岡崎	(0564)23-3418	〒444-0065	愛知県岡崎市柿田町1-2
岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡県静岡市長沼885
沼津	(055)963-1000	〒410-0861	静岡県沼津市真砂町3-1
浜松	(053)461-8685	〒435-0016	静岡県浜松市和田町795-2
松本	(0263)26-1107	〒390-0835	長野県松本市高宮東1-35
長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
金沢	(076)237-7811	〒920-0062	石川県金沢市割出町627
富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井県福井市問屋町1-17
三重	(059)228-8126	〒514-0838	三重県津市岩田町10-3

近　畿　地　区

大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪和	(072)221-8571	〒590-0959	大阪府堺市大町西3-1-16
京都	(075)672-0877	〒601-8102	京都府京都市南区上鳥羽菅田町41
三丹	(0773)27-3458	〒620-0856	京都府福知山市土師宮町1-66
奈良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市曲川町7-1-31
滋賀	(077)545-4221	〒520-2134	滋賀県大津市瀬田1-1-5
和歌山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山県和歌山市中島369
田辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神戸	(078)651-3951	〒652-0897	兵庫県神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(0792)96-2141	〒670-0981	兵庫県姫路市西庄字八町108
淡路	(0799)22-2702	〒656-0101	兵庫県洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3-17-5
福　　山	(084)925-3455	〒720-0077	広島県福山市南本庄3-1-48
岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　　江	(0852)23-1183	〒690-0017	島根県松江市西津田4-1-14
山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

四　国　地　区

愛　　媛	(089)971-3342	〒791-8036	愛媛県松山市高岡町148-1
宇　和　島	(0895)27-1818	〒798-0077	愛媛県宇和島市保田甲934-3
香　　川	(087)843-1840	〒761-0104	香川県高松市高松町2175-10
高　　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知県高知市介良乙1044
徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区

福　　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北　九　州	(093)521-5286	〒802-0023	福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28
中　九　州	(0942)21-3534	〒830-0052	福岡県久留米市上津町字赤坂1890-2
長　　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎県長崎市本河内3-21-43
佐　世　保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江町3-2-88
八　　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分県大分市大道町3-4-32
宮　　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎県宮崎市花ケ島町観音免883
鹿　児　島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)　サービス部

(300704D)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

さくいん

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

製品保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書113ページ記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。
詳細は113ページをご参照ください。

品　名	HDDボイスレコーダー
品　番	HDR-B5GM
保証期間	お買い上げ日から　本体1ヵ年
※お買い上げ日	年　　月　　日
お客さま	ご住所
	お名前　　　　様
	電　話　(　　　)　—
※販売店	
	電　話　(　　　)　—

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

製造元　三洋電機株式会社

三洋テクノ・サウンド株式会社

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号

電話　**大東(072)**870-4186(直通)

HDR-B5GMユーザーサポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/icr/